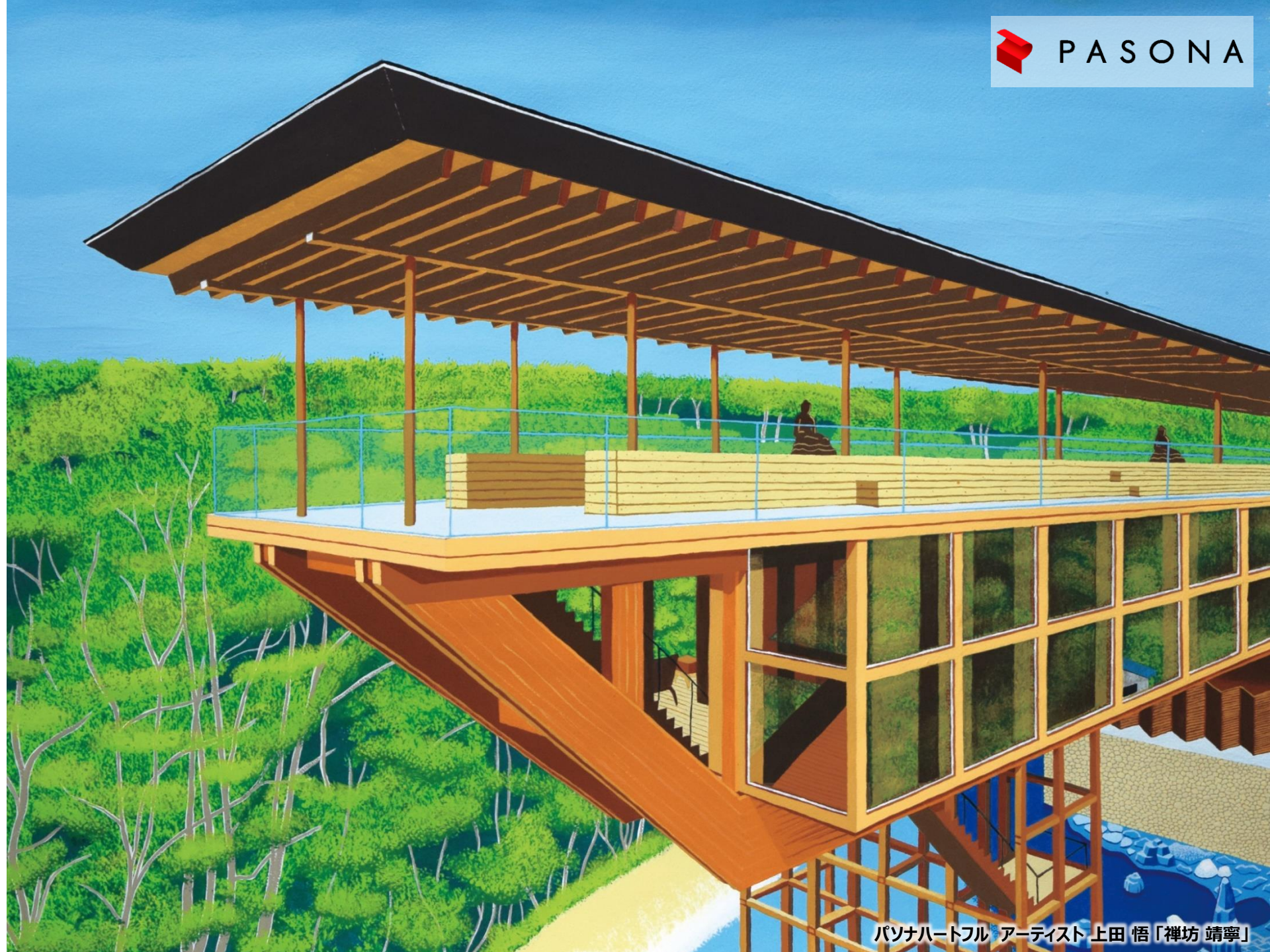


2024年5月期 決算説明会



株式会社パソナグループ

東証プライム (2168)

2024年7月17日

<https://www.pasonagroup.co.jp/>

目次

	(スライド番号)
1. 2024年5月期 業績概況	2
2. セグメント情報	9
3. 2025年5月期 通期連結業績予想	19
4. 株主還元	23
5. 資金使途	25
6. 2025年5月期 グループ重点戦略	29
7. 参考資料	39

2024年5月期 業績概況

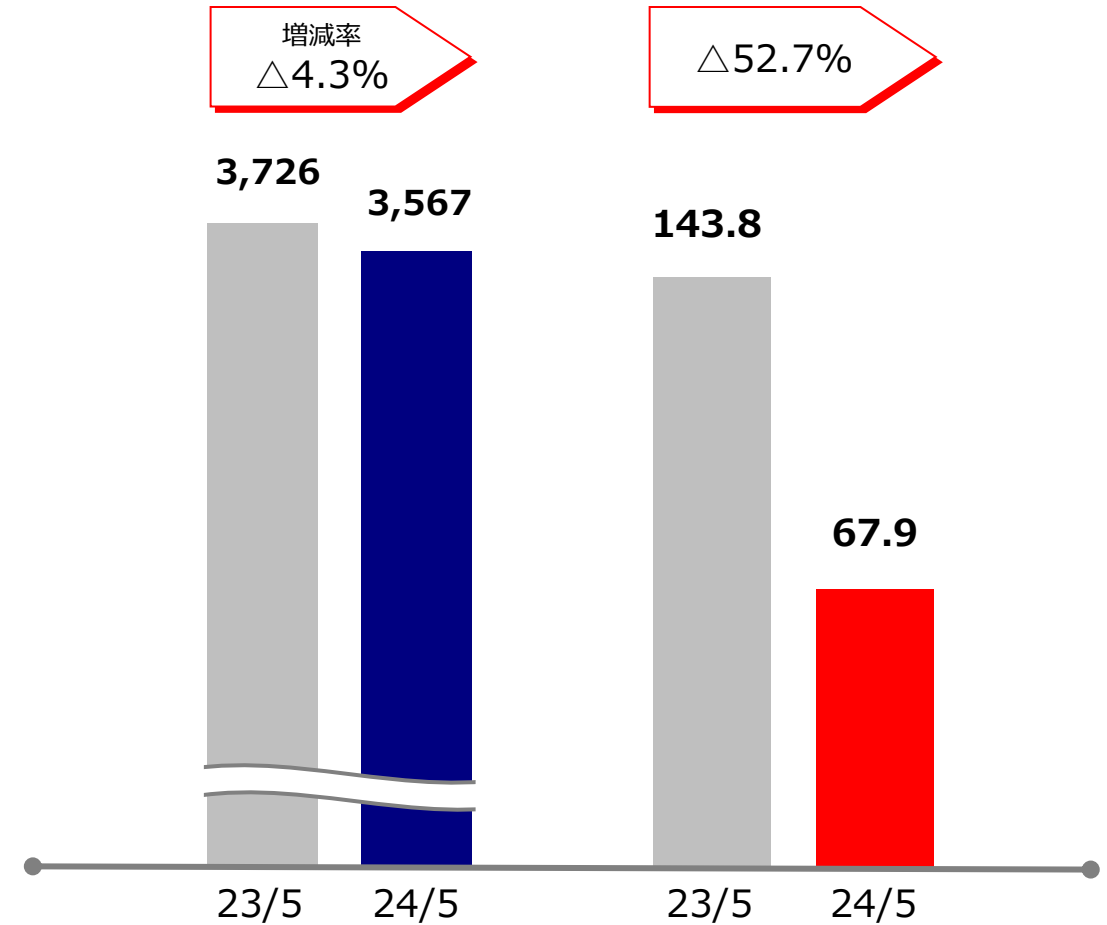
連結業績

(百万円)	23/5 (構成比 %)	24/5 (構成比 %)	前期比
売上高	372,579 (100.0)	356,733 (100.0)	△15,846 △4.3%
売上原価	281,053 (75.4)	271,907 (76.2)	△9,145 △3.3%
売上総利益	91,525 (24.6)	84,825 (23.8)	△6,700 △7.3%
販管費	77,148 (20.7)	78,030 (21.9)	+881 +1.1%
営業利益	14,377 (3.9)	6,794 (1.9)	△7,582 △52.7%
経常利益	15,366 (4.1)	7,152 (2.0)	△8,214 △53.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,099 (1.6)	95,891 (26.9)	+89,791 +1,472.1%
売上総利益率	24.6%	23.8%	△0.8pt
営業利益率	3.9%	1.9%	△2.0pt

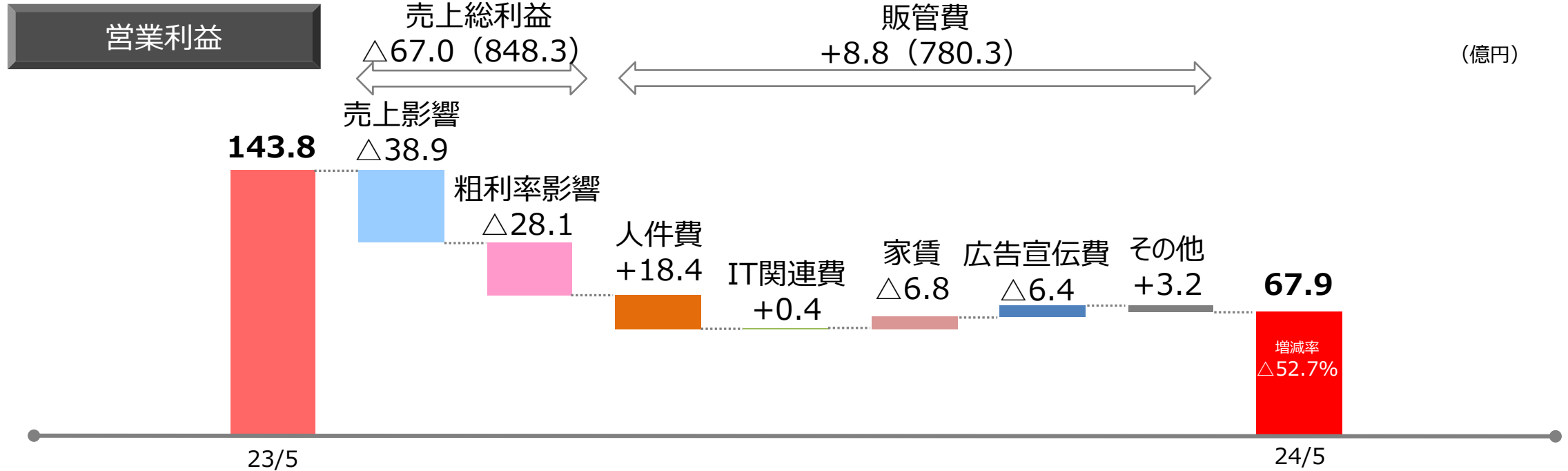
売上高

営業利益

(億円)



営業利益分析



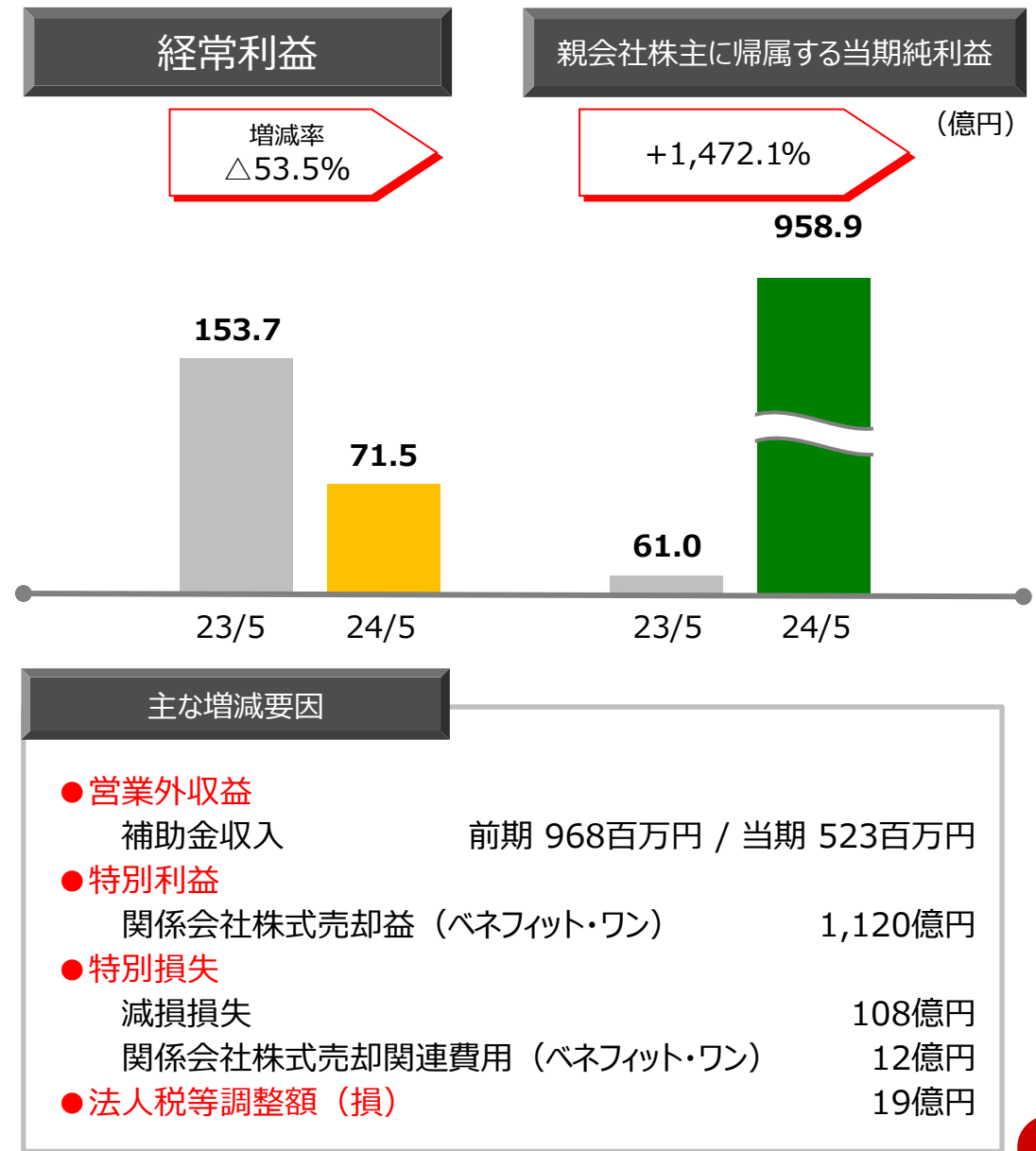
	16/5	17/5	18/5	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5
売上総利益率	20.0%	20.2%	21.5%	22.8%	23.6%	24.8%	24.5%	24.6%	23.8%
販管費比率	18.6%	18.6%	19.4%	20.0%	20.3%	18.8%	18.5%	20.7%	21.9%
営業利益率	1.5%	1.6%	2.1%	2.9%	3.3%	6.0%	6.0%	3.9%	1.9%

主な増減要因

- **売上総利益** : エキスパートサービス、アウトソーシング、ライフソリューションの一部でそれぞれ、新型コロナウイルス感染症に係る特需が減少
特需減少により、粗利率も低下 24.6%→23.8% ($\Delta 0.8$ pt)
- **販管費** : 成長分野での人員強化や先行投資等で人件費が増加

連結業績（営業外・特別損益）

(百万円)	23/5	24/5	前期比	%
営業利益	14,377	6,794	△7,582	△52.7%
営業外収益	1,788	1,145	△642	△35.9%
営業外費用	798	787	△10	△1.4%
経常利益	15,366	7,152	△8,214	△53.5%
特別利益	1,530	112,060	+110,529	+7,220.0%
特別損失	131	12,961	+12,829	+9,764.2%
税引前当期純利益	16,766	106,251	+89,485	+533.7%
法人税等充当金	7,508	4,926	△2,582	△34.4%
法人税等調整額	△1,450	1,886	+3,336	-
法人税等計	6,058	6,813	+754	+12.5%
非支配株主損益	4,608	3,547	△1,060	△23.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,099	95,891	+89,791	+1,472.1%



連結業績 セグメント別

(百万円)

セグメント別		売上高				営業利益				営業利益率		
		23/5	24/5	前期比	%	23/5	24/5	前期比	%	23/5	24/5	前期比
①	エキスパートサービス (人材派遣)	147,188	134,534	△12,654	△8.6%							
②	BPOサービス (委託・請負)	142,327	142,854	+526	+0.4%	14,515	11,499	△3,015	△20.8%	4.9%	4.0%	△0.9pt
③	HRコンサルティング、 教育・研修、その他	8,340	8,673	+332	+4.0%							
④	グローバルソーシング (海外人材サービス)	9,831	11,024	+1,192	+12.1%	617	270	△347	△56.2%	6.3%	2.5%	△3.8pt
小計		307,687	297,085	△10,601	△3.4%	15,132	11,770	△3,362	△22.2%	4.9%	4.0%	△0.9pt
⑤	キャリアソリューション (人材紹介、再就職支援)	13,923	13,054	△869	△6.2%	4,089	4,042	△46	△1.1%	29.4%	31.0%	+1.6pt
⑥	アウトソーシング	42,376	38,962	△3,413	△8.1%	10,487	7,615	△2,871	△27.4%	24.7%	19.5%	△5.2pt
⑦	ライフソリューション	8,200	7,792	△407	△5.0%	364	128	△236	△64.8%	4.4%	1.6%	△2.8pt
⑧	地方創生ソリューション	6,931	6,223	△708	△10.2%	△2,877	△2,588	+288	-	-	-	-
⑨	消去又は全社	△6,539	△6,385	+154	-	△12,819	△14,174	△1,355	-	-	-	-
連結		372,579	356,733	△15,846	△4.3%	14,377	6,794	△7,582	△52.7%	3.9%	1.9%	△2.0pt

バランスシート

主な増減内訳	23/5末	24/5末	(億円) 増減
資産	2,755	3,011	+256
流動資産	1,943	2,436	+494
現金及び預金	1,231	1,923	+692
受取手形・売掛金・契約資産	526	435	△92
固定資産	811	573	△238
有形固定資産	337	355	+17
無形固定資産	266	50	△216
投資その他の資産	208	169	△39
負債	2,039	1,464	△575
流動負債	1,448	1,039	△409
買掛金	74	34	△40
短期借入金	103	93	△10
預り金	787	564	△223
固定負債	591	425	△166
長期借入金	435	294	△141
純資産	716	1,547	+830
株主資本	527	1,473	+946
資本剰余金	171	175	+4
利益剰余金	329	1,274	+945
自己株式	△24	△27	△3
その他の包括利益累計額	13	12	△1
新株予約権	0	0	△0
非支配株主持分	176	62	△115
自己資本比率	19.6%	49.3%	+29.7pt
自己資本比率 (受託案件の預り金を除く)	26.9%	60.3%	+33.4pt

株式売却により、24/5末BSからベネフィット・ワンを除外しています

除外したベネフィット・ワンの資産・負債

資産 (506億円) : 流動資産241億円 / 固定資産264億円
負債 (263億円) : 流動負債169億円 / 固定負債 94億円

主な増減要因 (前期末比)

【現金及び預金】

ベネフィット・ワン株式の売却による増加 1,152億円
受託案件に係る一時的な預り金の減少 △199億円
2024年 5月末 (当期末) 550億円
2023年 5月末 (前期末) 749億円

【預り金】

受託案件に係る一時的な預り金の減少 △199億円

【利益剰余金】

ベネフィット・ワン株式売却による特別利益 1,120億円

【非支配株主持分】

ベネフィット・ワン連結除外に伴う減少 121億円

【自己資本比率】

受託案件に係る預り金を控除した場合は60.3% (+33.4pt)

キャッシュ・フロー

主な増減内訳	(億円)		
	23/5	24/5	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	60	74	+14
税金等調整前四半期純利益	168	1,063	+895
減価償却費	51	56	+4
減損損失	-	108	+108
のれん償却額	7	8	+0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	△0	+13
売上債権・契約資産の増減額	△12	42	+54
預り金の増減額 (△は減少)	11	△13	△23
関係会社株式売却益 (△は益)	△0	△1,120	△1,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125	943	+1,068
有形固定資産の取得	△90	△152	△62
無形固定資産の取得	△46	△49	△3
投資有価証券の取得	△6	△4	+2
投資有価証券の売却	18	0	△18
範囲変更子株取得支出	△13	-	+13
範囲変更子株売却収入	0	1,152	+1,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23	△129	△106
長期借入れによる収入	157	25	△132
子会社の自己株式の取得	△15	△0	+15
現金同等物の増減額	△87	891	+977
現金同等物期首残高	566	479	△87
現金同等物期末残高	479	1,370	+891
フリーキャッシュ・フロー	△65	1,016	+1,082

主な増減要因 (前期比)

【償却前利益】

1,235億円 (前期比+1,007億円)
 ※ベネフィット・ワン株式売却分を除くと125億円 (前期比△101億円)

【関係会社株式売却益】

ベネフィット・ワン株式売却によるキャッシュを「投資活動によるキャッシュ・フロー」に計上するため「営業活動によるキャッシュ・フロー」から関係会社株式売却益を控除

【有形固定資産の取得】

地方創生事業等における資産の取得

【範囲変更子株売却収入】

ベネフィット・ワン株式売却による増加

【子会社の自己株式の取得】

前期はベネフィット・ワンが自己株式を取得

※ キャッシュ・フローには、受託案件に係る顧客からの一時的な「預り金」に見合うキャッシュの残高・増減額は含まれておりません。

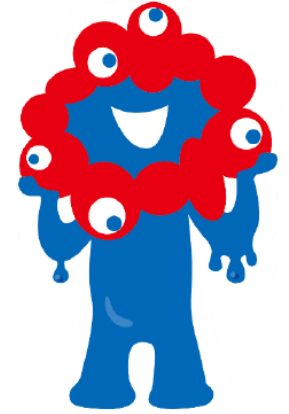
セグメント情報

エキスパートサービス（派遣）

売上高

(億円)

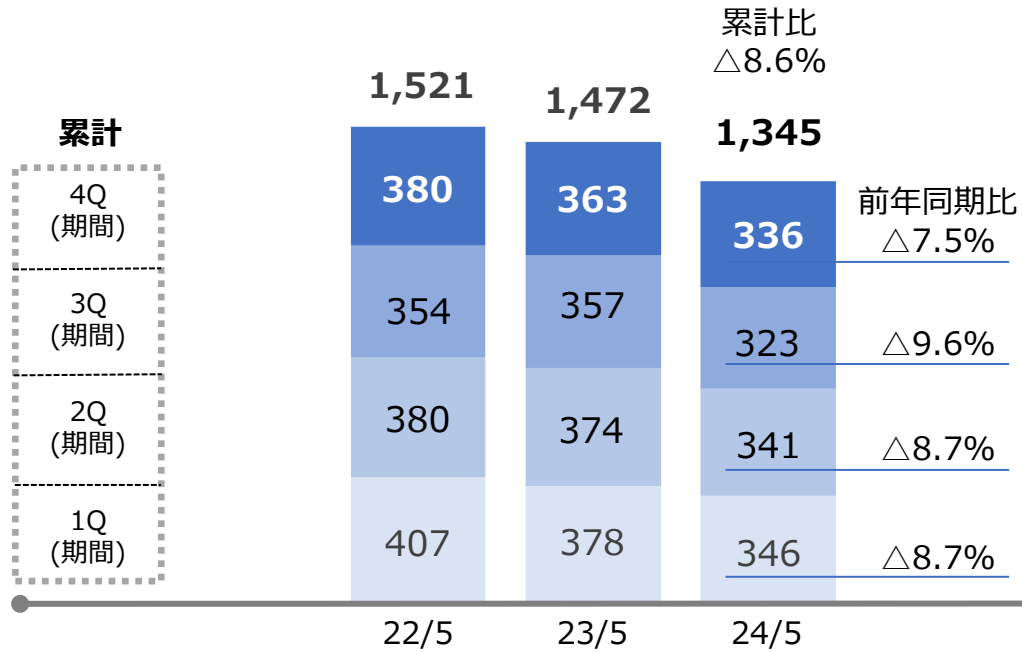
スタッフエンゲージメント施策



©Expo 2025

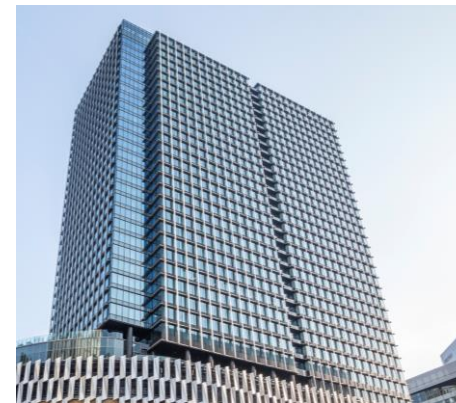
▲大阪・関西万博公式キャラクター「ミyakumiyaku」

2025年に大阪・関西万博の開催を迎える関西エリアで、派遣スタッフの募集・登録及び派遣サービスの拡大を目指して、大阪・梅田と難波の両拠点をそれぞれ移転。スタッフイベント等も開催

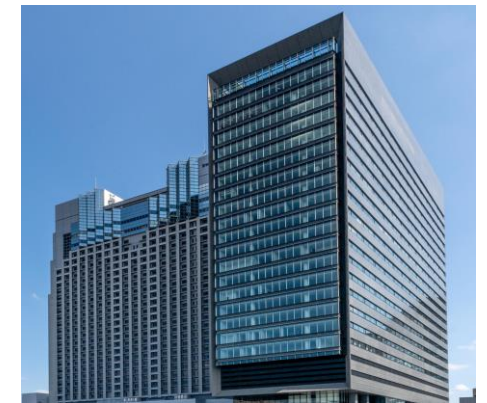


事業状況 24/5 (実績)

- ・新型コロナウイルス感染症に係る業務が概ね終了し、稼働者数が年間を通じて減少
- ・派遣料金の改定により派遣単価は上昇、派遣スタッフの時間給単価もUP
- ・高度事務職の受注拡大、人材育成を目的にデジタル人材の育成にも取り組む



▲「大阪梅田ツインズタワーズ・サウス」
(24年5月移転)



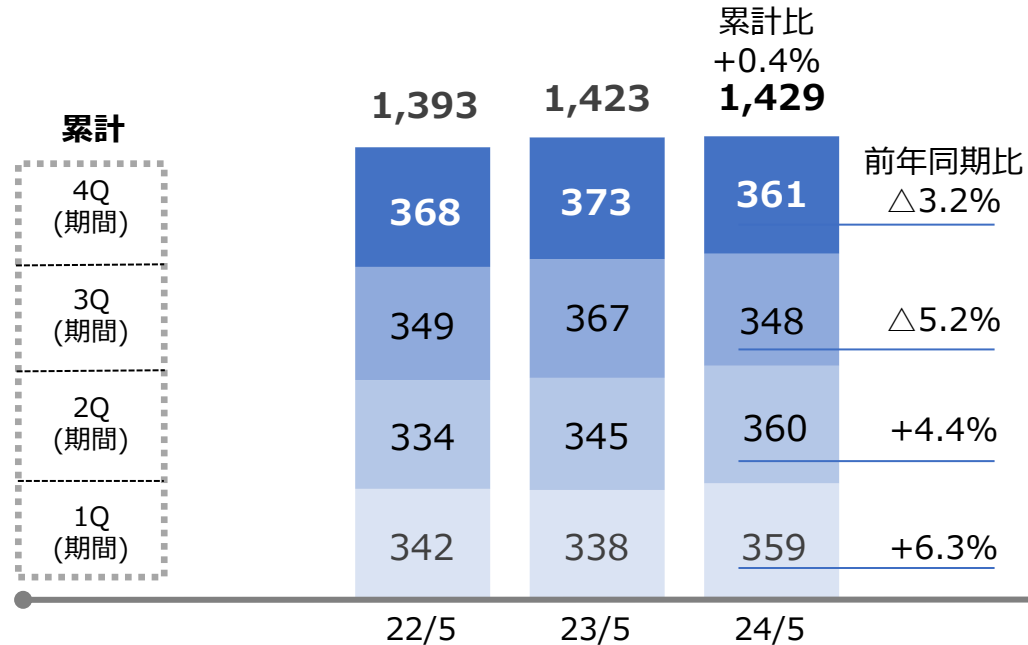
▲「なんばスカイオ」
(24年7月移転)

BPOサービス (委託・請負)

売上高

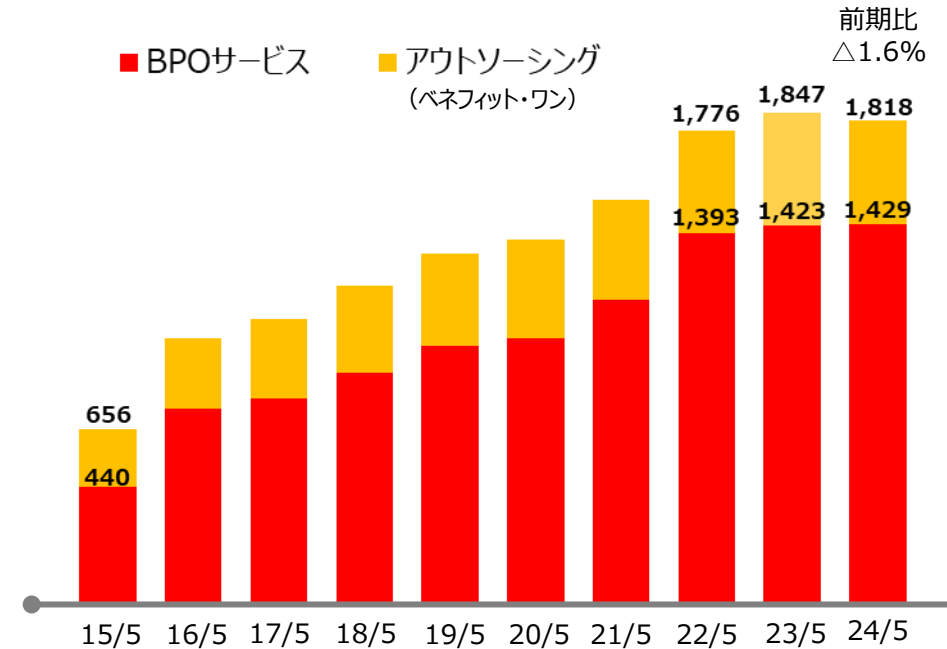
(億円)

※当期3Qに子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更しました。
それに伴い前期3Qから同セグメント変更の振替を行っています。



BPO+アウトソーシング 売上高推移

(億円)



事業状況 24/5 (実績)

- ・特需案件は減少したものの、民間企業およびパブリックセクターからの新たな需要を獲得
- ・民間企業からは、人事や経理、総務領域でコア業務への集中化支援や、生産性向上に向けたRPA導入・運用支援が増加
- ・パブリックセクターからはリスキリングや行政事務代行業の受託が広がる
- ・ビーウィズ、パソナ日本総務部 (旧：パソナ・パナソニック ビジネスサービス) で新規案件獲得が堅調に進む

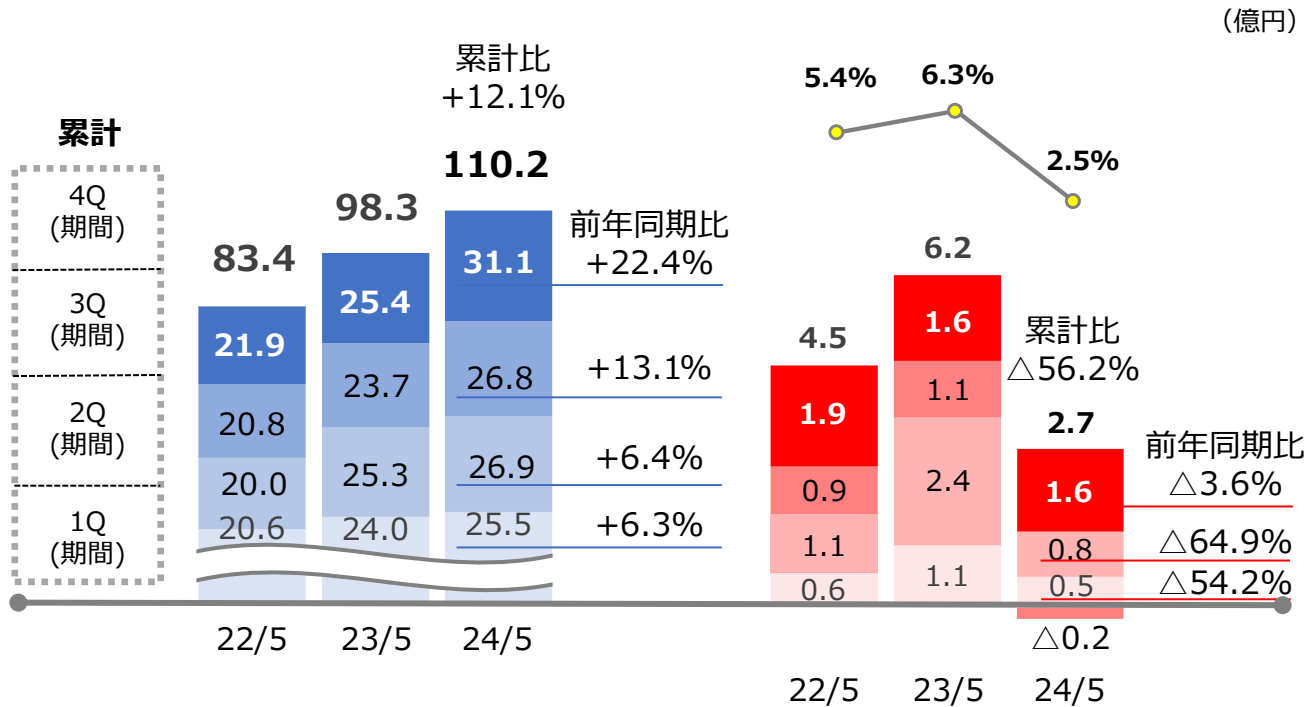
グローバルソーシング (海外人材サービス)

売上高

営業利益・営業利益率

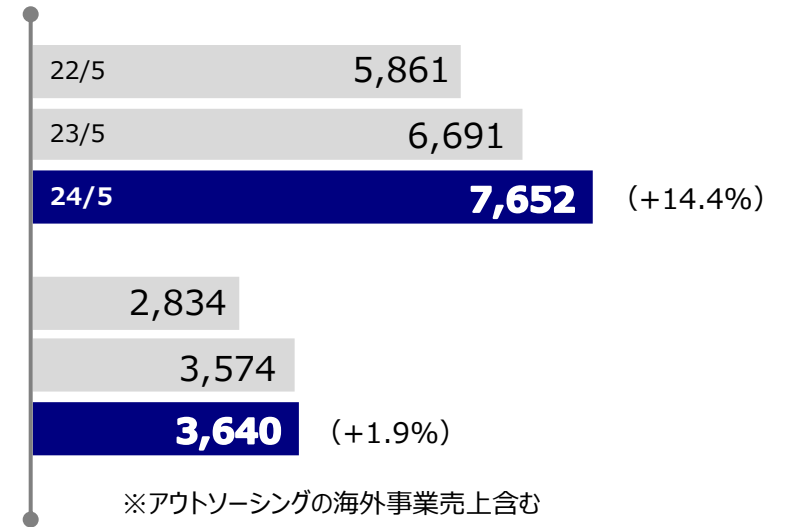
エリア別売上高(全海外事業)

(百万円)



アジア
(日本除く)

欧米



事業状況 24/5 (実績)

アジア地域：(台湾) 半導体や製造業からの人材需要が増加
(ベトナム) 日系企業からのIT分野の開発業務の受託が拡大
(インドネシア) 経済成長も続き、人材サービスが拡大

多くの拠点で人員強化のための採用や処遇改善を先行して行ったことに加え、研修や出張等の実施も活発であったことから販管費が増加

事業別売上高

(百万円)

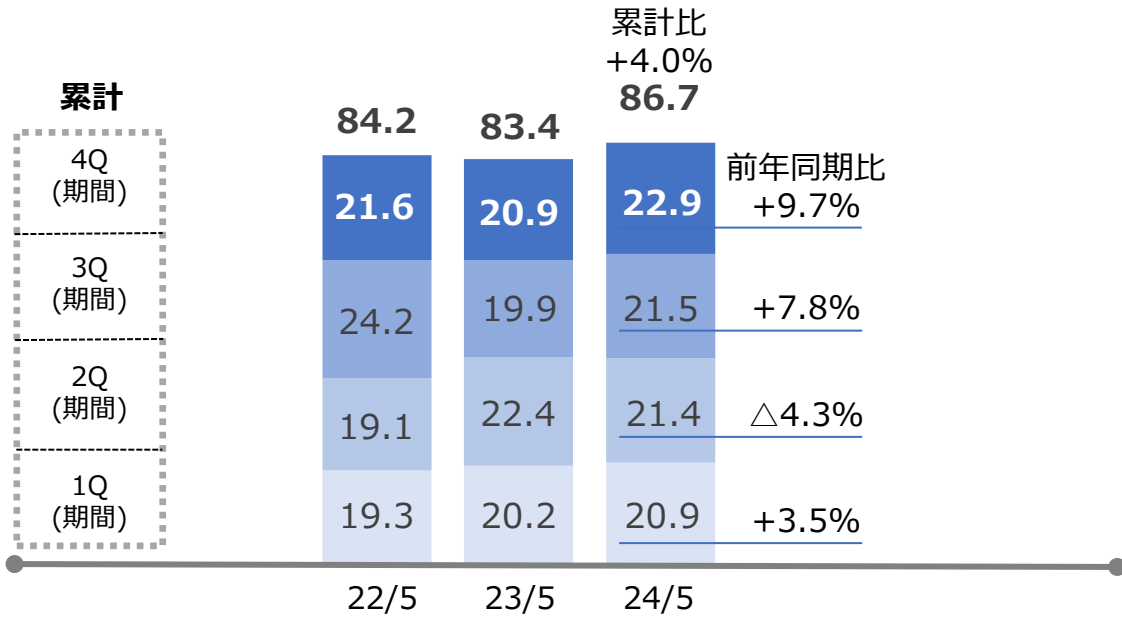
	22/5	23/5	24/5	増減率
人材派遣	4,221	4,720	5,593	+18.5%
人材紹介	1,809	2,393	2,507	+4.7%
請負(給与計算他)	1,470	1,713	1,901	+10.9%
その他	834	1,003	1,021	+1.8%
合計	8,335	9,831	11,024	+12.1%

HRコンサルティング 他 / セグメント営業利益

売上高 (HRコンサルティング、教育研修他)

(億円)

※当期3Qに子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更しました。それに伴い前期3Qから同セグメント変更の振替を行っています。



事業状況 24/5 (実績)

顧問コンサルティング事業：人的資本経営や統合報告書の作成に係る専門領域でのプロフェッショナル人材需要が増加
女性取締役を求める企業から採用需要が増加

リクルーティング事業(採用代行)：採用コンサルティングの需要が拡大

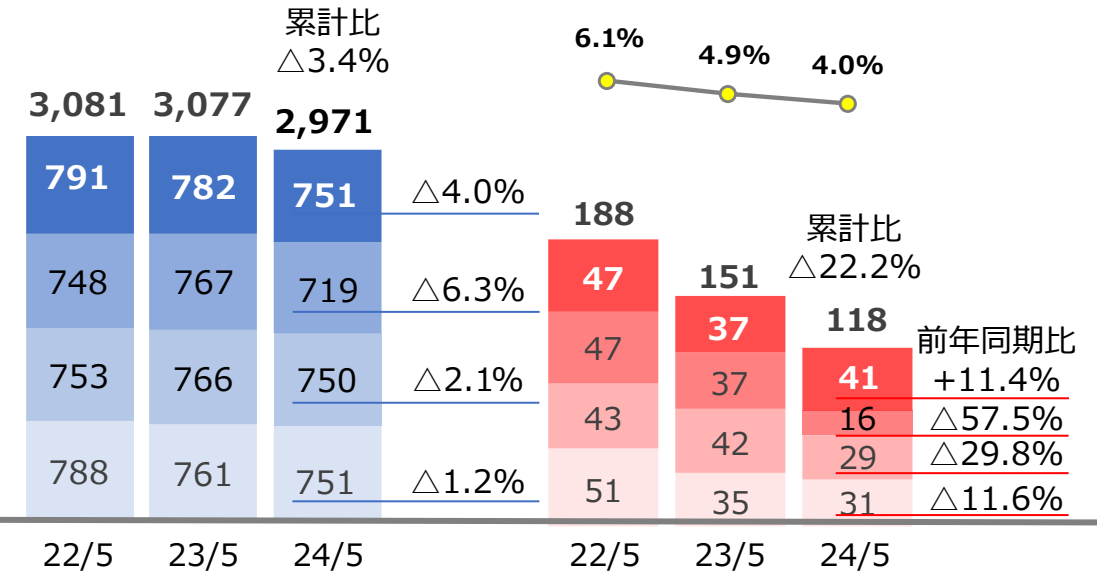
教育研修事業：女性社員の活躍推進の専門研修等のニーズが増加
新入社員研修は対面型研修が大半となり需要が拡大

売上高 (ES~GS)

営業利益・営業利益率 (ES~GS)

(億円)

※ES~GS：エキスパートサービス、BPOサービス、HRコンサルティング、グローバルソーシング



事業状況 24/5 (実績)

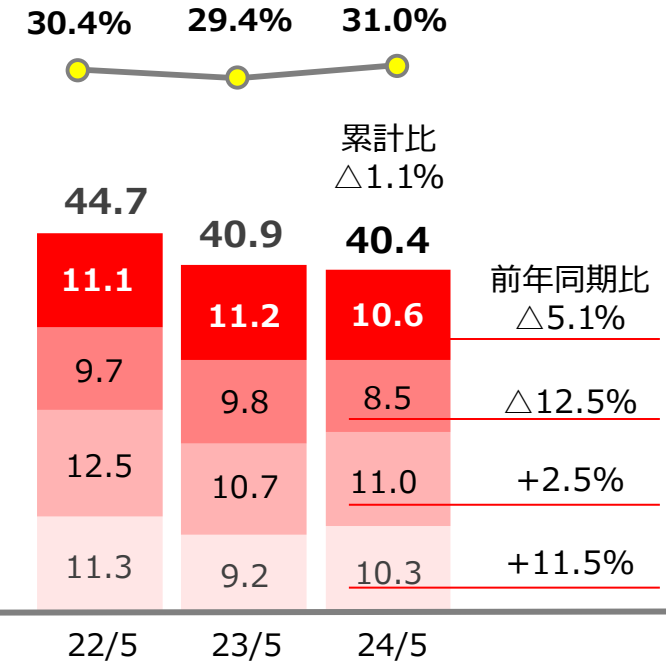
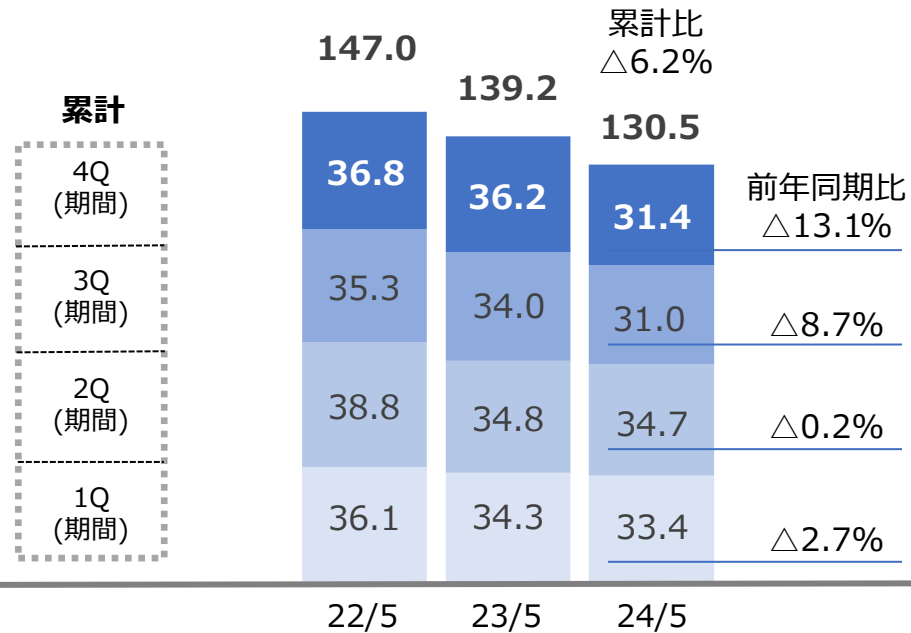
- 主にエキスパートサービスにおいて稼働者数が減少したことによる売上高の減少
- 新型コロナウイルス感染症の収束に伴い医療専門職種の派遣が減少し粗利率も低下

キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）

売上高

営業利益・営業利益率

(億円)



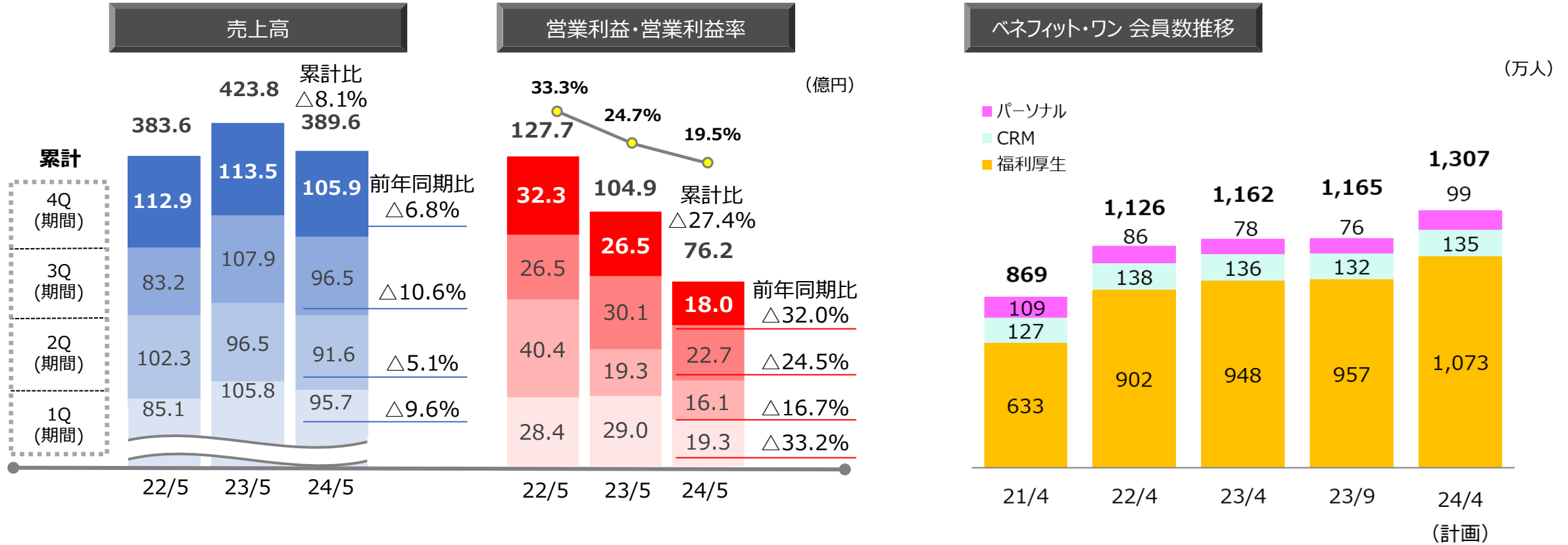
事業状況 24/5 (実績)

人材紹介事業：一部の業界で採用意欲が減少したものの、戦略的に注力するハイキャリア領域は安定した需要が継続
 期初から成約単価は上昇したものの、転職希望者の退職慰留が増加し成約数は前期から減少

再就職支援事業：期初から需要の減少が続く

足もとでは、ビジネス環境の変化や企業の構造改革の動きから早期・希望退職者の募集をする企業が増加
 従業員の自律的なキャリア形成を支援する「セーフプレースメント・トータルサービス」の需要は順調に拡大

アウトソーシング (ベネフィット・ワン)



事業状況 24/5 (実績)

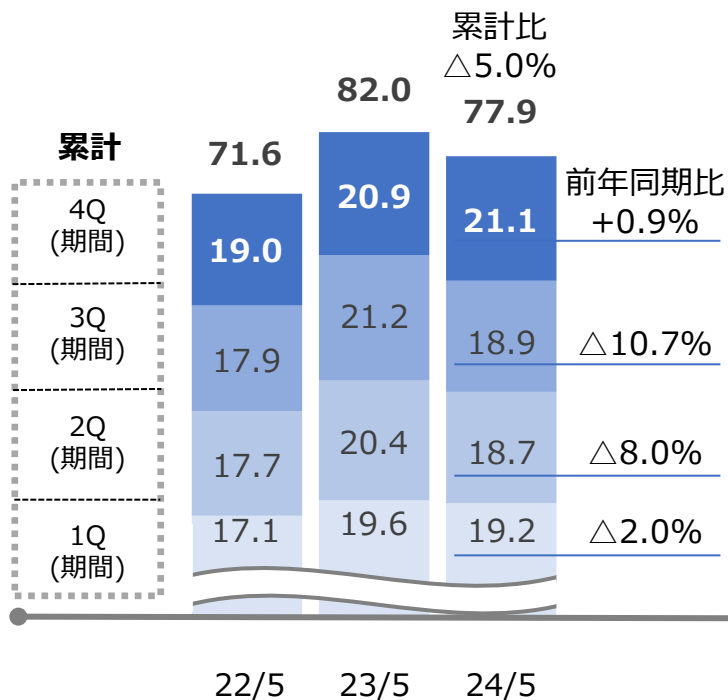
福利厚生事業：売上高の大半を占める会費収入は前期比で増加した一方、旧JTBベネフィット特有の取引などが減少
 中長期成長に向けた人材やシステム投資による費用が増加するも、旧JTBベネフィットのサービス統合による重複コスト削減により収益性改善

ヘルスケア事業：コロナワクチン接種支援事業の売上高は業務の縮小により前期比で減収

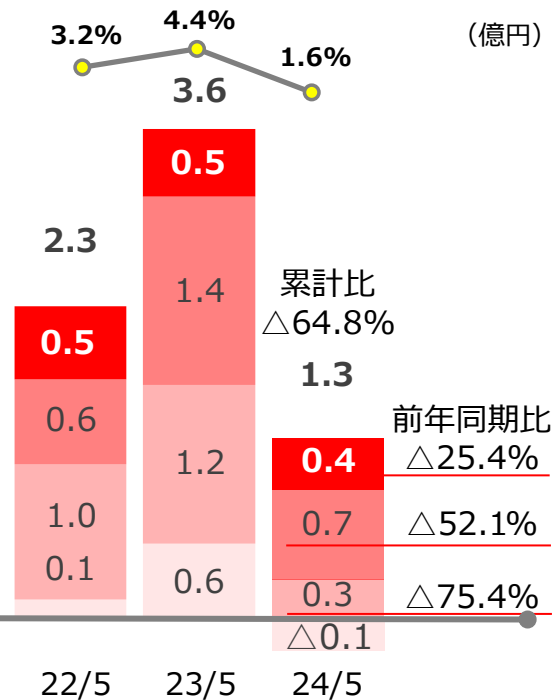
保健指導事業：新規受注獲得に遅れがあったものの、前期比で増収増益

ライフソリューション（保育・介護）

売上高



営業利益・営業利益率



パナフオスター・パナライフケアの施設数

※2024年5月末時点
※23/8に施設のカウント方法を変更し一部遡り修正をしています

施設	21/5	22/5	23/5	24/5	前期比
パナフオスター	89	92	98	105	+7
保育施設	49	49	49	47	△2
学童クラブ・児童センター	40	43	49	58	+9
パナライフケア					
介護施設	22	22	20	19	△1

パナフオスターの取り組み

パナフオスターが運営する教育型アフタースクール「Miracle Labo」が、経済産業省後援「第17回キッズデザイン賞」優秀賞「消費者担当大臣賞」を受賞

事業状況 24/5 (実績)

保育事業：認可保育園や学童クラブの新規開設をはじめ、既存保育施設の受入れ児童数が前期から増加
新規開設の費用先行や人件費などの運営費用等の増加により売上総利益は減少

ライフサポート事業（家事代行等）：前期まで新型コロナウイルス感染症の拡大対策として病院や宿泊施設から受託していた除菌消毒サービスが減少
感染者療養施設への介護人材の派遣需要も減少
子育て家庭を対象にした家事代行サービスの受託事業が順調に拡大するも、複数地域に分散し人件費を中心に販管費が増加



▲学生との協働PBL授業の様子



地方創生ソリューション



▲ TANGO KINGDOM Beer®



売上高		営業利益					
				(億円)			
累計	69.3	62.2	累計比 △10.2%				
	16.8	19.0	前年同期比 +12.5%				
4Q (期間)	44.3	11.3	△32.6%	22/5	23/5	24/5	[利益改善額]
3Q (期間)	11.3	12.3	△17.0%	△7.0	△6.7	△6.5	[+0.2]
2Q (期間)	12.4	15.7	△0.2%	△5.5	△4.5	△5.7	[▲1.2]
1Q (期間)	12.9	15.3		△4.5	△10.0	△7.5	[+2.5]
	7.6			△9.1	△7.6	△6.2	[+1.4]
累計				△26.1	△28.8	△25.9	[+2.9]

22/5 ⇒ 4- 3月
23/5 ⇒ 4- 5月 (※)
24/5 ⇒ 6- 5月

(※) 前期に一部子会社で決算期変更を行ったため業績比較期間が異なります

地方創生の取り組み

(株)丹後王国ブルワリー

- ・国内外の販路開拓強化を目的に缶ビール事業を開始
- ・「International Taste Institute (旧名 iTQi/国際味覚審査機構)」の審査員団が選ぶ「2024 SUPERIOR TASTE AWARD(優秀味覚賞)」に選定

(株)匠創生

- ・「古昔の美酒 古酒蔵プロジェクト」を開始異なる酒蔵のブレンド古酒を販売
- ・香港の高級スーパーマーケット「city'super (シティスーパー)」にて販売開始
- ・「第18回 フェミナリーズ世界ワインコンクール2024」にて3銘柄が金賞を獲得
- ・世界最大規模の酒類コンペティション『IWC 2024』にて6銘柄が入賞

(株)パソナ農援隊

- ・自然の恵みを取り入れた豊かな暮らしの実現に向けた「Awaji Nature Lab& Resort」プロジェクトを推進



事業状況 24/5 (実績)

- ・淡路島公園アニメパーク「ニジゲンノモリ」では、インバウンドの来場者が大きく増加
- ・猛暑や週末の悪天候による影響を受けたほか、観光地の分散化の影響もあり当期の来場者数は期初予想を下回る
- ・飲食施設では、原材料の高騰により原価率が上昇また処遇改善により人件費も増加
- ・前期に一部子会社で決算期を3月から5月に変更(前3Q期間は5ヶ月分を計上)

消去又は全社

売上高

営業利益

(億円)

	22/5	23/5	24/5		22/5	23/5	24/5	
1Q (期間)	△15.0	△15.2	△16.0		△26.7	△33.8	△31.8	[+2.0]
2Q (期間)	△19.6	△18.0	△16.4		△28.8	△34.7	△33.7	[+1.0]
3Q (期間)	△13.3	△15.6	△15.1		△25.4	△29.0	△33.2	[▲4.2]
4Q (期間)	△66.4	△65.4	△63.9		△34.7	△30.7	△43.1	[▲12.4]
累計					△115.7	△128.2	△141.7	[▲13.5]

[利益改善額]

グローバル人材の育成に向けた連携強化

- ・UNITAR (国連訓練調査研究所) (2023年6月)
女性・若者のデジタルスキル向上及び就業支援に向けた覚書を締結
- ・ベトナム・ダナンのズイタン大学及び国立ダナン工科大学
IT人材育成及び就職支援に関する覚書を締結 (2023年12月)
- ・香港大学ビジネススクール
ビジネス教育及び国際ビジネスの推進支援する環境醸成に関する覚書を締結 (2024年3月)
- ・台湾大学
グローバルリーダーの育成に向けた「基本合意書」を締結
淡路島で台湾大学生のインターンシップを開始 (2024年6月)

Well-being 産業の創出

- ・真に豊かな社会の実現を目指す“ウェルビーイング”をテーマにした複合型イベント パソナグループ『Awaji Well-being Week 2024』今秋開催
- ・“ウェルビーイング”をテーマにした新産業の創出を目指す「Awaji Well-being ビジネスコンテスト2024」を開催
(2024年7月募集開始)

コスト増減の主な要因 24/5 (実績)

- ・人件費やDX推進に伴うIT関連費用が増加
- ・2025年大阪・関西万博に出展に伴うパビリオン関連費用が一部発生
- ・将来の人材育成に向けた大学連携、教育機関設置への取り組み推進

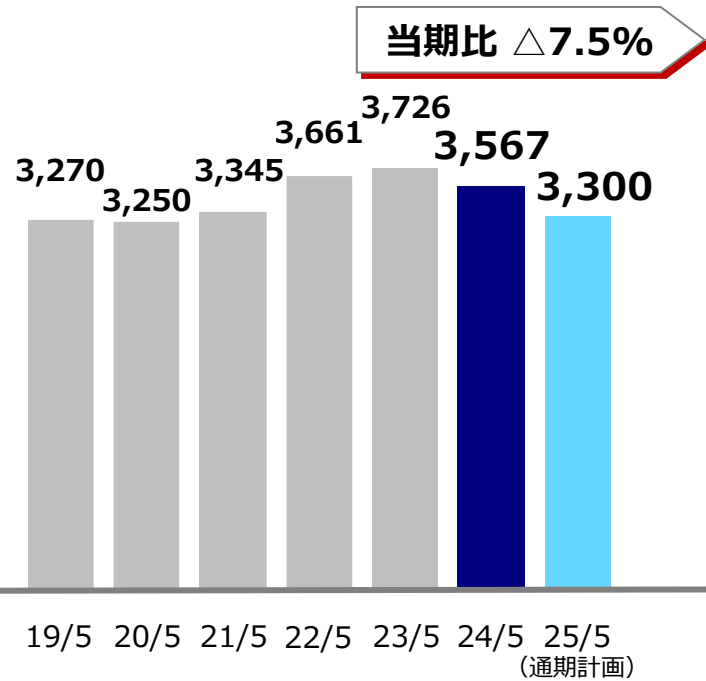


▲世界各国のシェフが競う「ワールドシェフ王料理大会」 ▲Awaji Well-being Week 2023

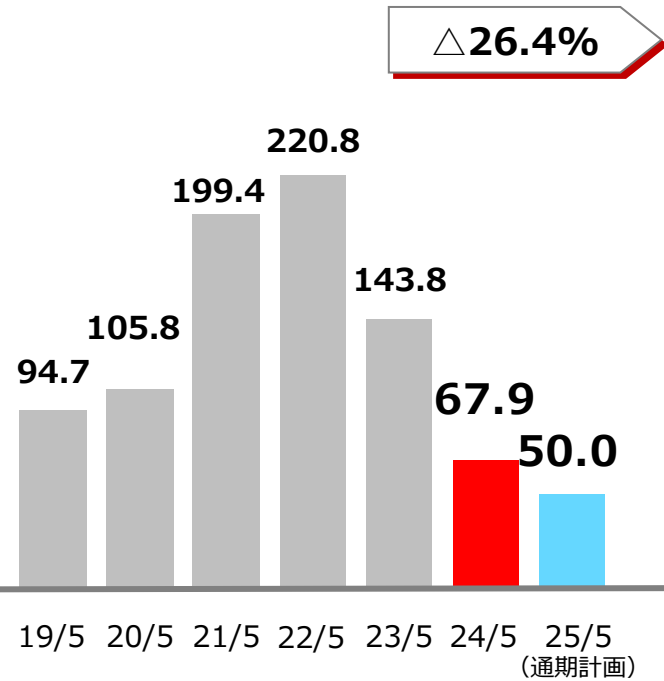
2025年5月期 通期連結業績予想

2025年5月期 通期連結 業績予想

売上高

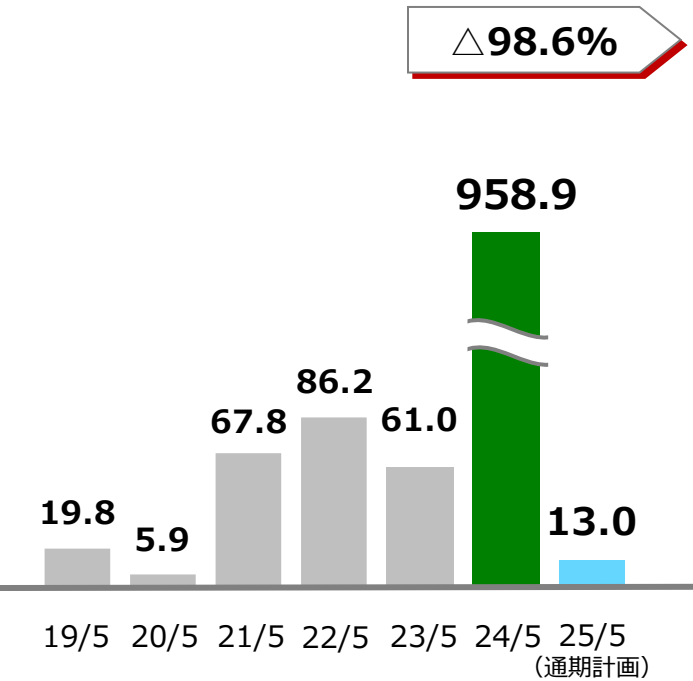


営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)



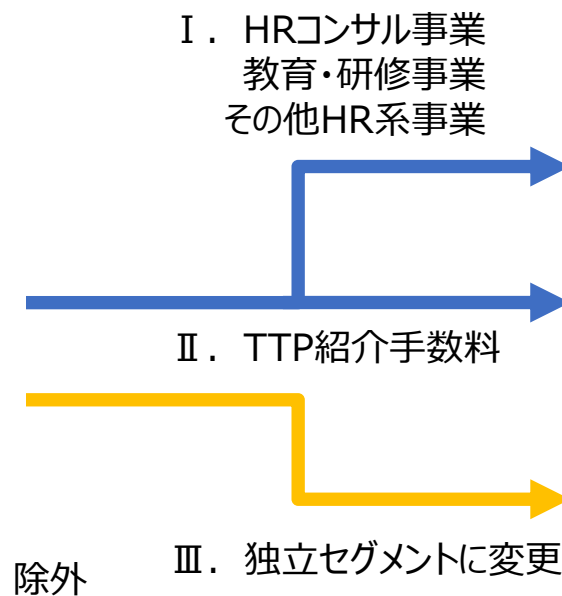
(百万円)

	19/5	20/5	21/5	22/5	23/5	24/5	25/5 通期計画	当期比 増減	(%)
売上高	326,984	324,984	334,540	366,096	372,579	356,733	330,000	$\Delta 26,733$	$\Delta 7.5\%$
営業利益	9,465	10,577	19,940	22,083	14,377	6,794	5,000	$\Delta 1,794$	$\Delta 26.4\%$
経常利益	9,237	10,236	20,379	22,496	15,366	7,152	5,000	$\Delta 2,152$	$\Delta 30.1\%$
親会社株主に帰属する当期純利益	1,975	594	6,784	8,621	6,099	95,891	1,300	$\Delta 94,591$	$\Delta 98.6\%$

セグメント変更について

「アウトソーシング」セグメントを担っていた株式会社ベネフィット・ワンが株式売却により連結の範囲から除外されたため、2025年5月期から報告セグメントの構成及び名称を一部変更します。

旧セグメント名
1. HRソリューション
①エキスパートサービス
②BPOサービス
③HRコンサルティング、教育・研修、その他
④グローバルソーシング
⑤キャリアソリューション
⑥アウトソーシング
2. ⑦ライフソリューション
3. ⑧地方創生ソリューション
4. ⑨消去又は全社



新セグメント名
1. HRソリューション
①BPOソリューション
②エキスパートソリューション
③キャリアソリューション
2. ④グローバルソリューション
3. ⑤ライフソリューション
4. ⑥地方創生・観光ソリューション
5. ⑦消去又は全社

2025年5月期 新セグメント別 業績予想

(百万円)

新セグメント別		売上高				営業利益				営業利益率		
		24/5 (参考)	25/5 通期計画	対計画 増減	%	24/5 (参考)	25/5 通期計画	対計画 増減	%	24/5 (参考)	25/5 通期計画	%
①	BPOソリューション	147,579	150,000	+2,420	+1.6%	11,582	14,000	+2,417	+20.9%	4.1%	4.8%	+0.7pt
②	エキスパートソリューション	137,082	141,500	+4,417	+3.2%							
③	キャリアソリューション	13,054	14,500	+1,445	+11.1%							
小計		297,715	306,000	+8,284	+2.8%	15,625	18,500	+2,874	+18.4%	5.2%	6.0%	+0.8pt
④	グローバルソリューション	11,024	12,500	+1,475	+13.4%	270	800	+529	+195.7%	2.5%	6.4%	+3.9pt
⑤	ライフソリューション	7,792	8,400	+607	+7.8%	128	300	+171	+133.5%	1.6%	3.6%	+2.0pt
⑥	地方創生・観光ソリューション	6,610	7,700	+1,089	+16.5%	△2,671	△500	+2,171	-	-	-	-
⑦	消去又は全社	△4,841	△4,600	+241	-	△14,174	△14,100	+74	-	-	-	-
連結		318,301	330,000	+11,698	+3.7%	△821	5,000	+5,821	-	-	1.5%	-

※ 2024年5月期連結数値は、アウトソーシングセグメントを除外した参考数値を記載。2024年5月期セグメントの数値は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値を記載しています。
 ※ 2025年5月期は通期業績予想のみを開示しています。なお、各セグメントの業績見通しは、下期にかけて拡大する計画となっております。

株主還元

配当について

1. 特別配当の実施

当社は、関係会社株式の売却による特別利益に対する株主還元の拡充策として、2024年5月期から5年間、**60円の特別配当**を実施することを決議しております。

(2024年4月12日付「特別配当の決議及び2024年5月期期末配当予想の修正」)

2. 配当方針の変更

2025年5月期より、連結配当性向の目途をこれまでの30%から**40%に変更**し、成長投資と株主還元のバランスを一層意識した経営資源の配分にすることで、更なる企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。

3. 当期・次期配当

	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期 (予想)
年間配当 (円)	13	18	19	30	35 普通配当30円 特別配当 5円	35	75 普通配当15円 特別配当60円	75 普通配当15円 特別配当60円
配当性向 (%)	37.2	35.6	124.9	17.3	15.9	22.5	3.1	226.0

※普通配当に対する配当性向 (%) (0.6%) (45.2%)

資金使途

関係会社株式売却による資金使途について

当社は、2024年5月期において、株式会社ベネフィット・ワンの株式を売却したことによって、連結決算で112,060百万円の関係会社株式売却益を特別利益として計上しております。

売却資金については、当社の中長期的な企業価値の向上を目的に、新規事業投資や設備投資、M&A投資など成長のための投資に充当するとともに、経営基盤の強化および株主還元を実施する計画です。

		(主な資金使途)			
特別利益 1,120億円	成長投資 (約60~70%)	BPO	基幹システムの刷新	業務プロセスの最適化による 収益率の向上を図る	約 50 億円 2025年2月稼働予定
		人材派遣			
		地方創生	淡路島 岩屋エリア ホテル開発プロジェクト	約 140 億円 2025年夏以降 開業予定	
	新規事業	ベンチャー投資/支援 ¹	Well-being領域等のベンチャー企業への 社会的インパクトの創出を目的とした投資	約 30 億円 順次	
	経営基盤の強化 (約20~30%)	人的資本	DX人材の育成	採用・育成の強化 2026年5月期までに約3,000名	約 15 億円 2025年5月期から
		ブランディング	大阪・関西万博 パビリオン出展 ²	創業50周年を迎え、新たな事業創造に 向けたブランディング	約 50 億円 2024年5月期から
	株主還元の拡充 (約10~20%)	株主還元	特別配当	2024年5月期末から2028年5月期末まで、 毎期末に特別配当60円を実施	約 120 億円 2024年5月期から

* () 内は投資割合の目安

① ベンチャー投資/支援

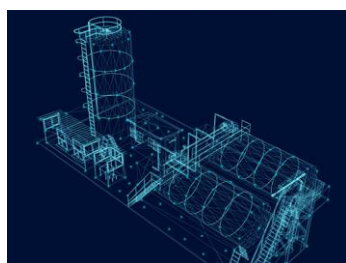
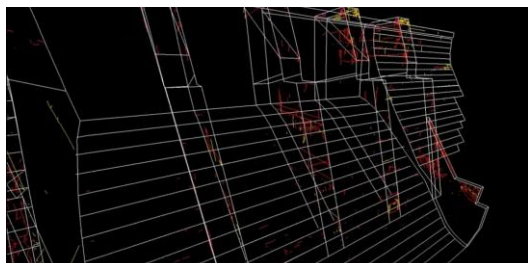
パソナグループのベンチャーマインドを体現すべく、Well-being領域やグループシナジーが発揮されるベンチャー企業に投資または経営支援を行うことで、社会的なインパクトの創出を目指しています。



クモノスコーポレーション株式会社

ひび割れのデジタル計測・3次元空間データサービス

特殊な3Dレーザースキャナを開発し、街・道路・歴史的建築物等のさまざまな点群データを生成するサービス、100m先にある0.2mmのひび割れを非接触でデジタル計測・解析するサービス等、3D計測技術等を用いた構造物点検・調査サービスを展開している。



非接触でひび割れの正確な計測を可能にした「KUMONOS」。大型建造物から外壁まで、ダメージを非接触で計測・解析が可能。



投資目的

今後、自治体等へのスキャナーを使った防災やインフラ修繕に関して人材含めてサービスを提供する。また、データのデジタル化による新たな事業開発を行う



HONESTIES株式会社 裏表前後のない肌着等の製造販売

アンダーウェアから「裏表や前後」をなくすことで、「着る、脱ぐ、しまう」を楽にして、シンプルで「本当に大切なことを頑張れる」ライフスタイルを提案。子どもや高齢者、ハンディキャップのある方、みんなが使えるユニバーサルデザインとして、世界のアンダーウェアのデファクトスタンダードを目指す。



投資目的

当社が目指すWell-beingの方向性と合致。当社グループの介護施設、保育施設、障がい者支援と連携を図る



ワンチップ顕微観察技術を活用した宇宙バイオベンチャー

株式会社IDDK

ワンチップ顕微観察技術のMID（マイクロイメージングデバイス）を用いて、人工衛星の中で最小スペースかつ最軽量で顕微観察を行い、難病やアンチエイジングなどの創薬、再生医療、宇宙農業などに貢献し、宇宙実験ができる場をワンストップで提供する宇宙バイオベンチャー。



投資目的

再生医療や創薬を通じてWell-beingの一つ、身体の健康を間接的に支援する

② 大阪・関西万博 パビリオン出展

パソナグループは 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）にパビリオン「PASONA NATUREVERSE」を 出展します。

パビリオン名称

PASONA NATUREVERSE

(パソナ ネイチャーバース)

パビリオンコンセプト

「いのち、ありがとう。」

パソナグループの仕事は「人を活かす」こと。
誰もが健康でイキイキと活躍できる社会の実現を目指しています。
「いのち、ありがとう。」
子どもからお年寄りまで、世界中のすべての人たちが、
いのちを尊び、いのちへの感謝で包まれる、そんな世界を創りたい。
私たちの社会は自然界の一部であり、
人間も自然によって生かされている存在です。
しかし、いつからか、私たちはそれを当たり前のように思い、
感謝を忘れてしまっているのではないのでしょうか？
自然が私たち人間に与えてくれる豊かな恵みに、
そして、今生きていることに、「ありがとう」と言いあえる。
そんな、「ありがとう」が響きあう新しい世界をつくり、次の世代へ残したい。
世界中から多くの方々に、私たちのパビリオンを訪れてもらい、
「ありがとう」が響き合う世界「NATUREVERSE (Nature×Universe)」をともに
創る未来の創造者になってほしい。
それがパソナグループの願いです。

パビリオンについて

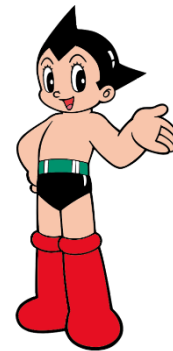
www.pasonagroup.co.jp/expo2025/



【主な展示テーマ】

1. からだ 医療/食
2. こころ 生きがい/思いやり
3. きずな 働く/互助

パビリオンナビゲーター



からだナビゲーター



© TEZUKA PRODUCTIONS

メディア紹介

メディア紹介数
871件

(*2022年度~2023年度)



2025年5月期 グループ重点戦略

創業からまもなく50年の節目を迎えるにあたり 「社会の問題点を解決する」という不変の企業理念のもと 次の50年を見据えた成長戦略に取り組む

<中長期ビジョン>

「既存事業の成長及び収益改善」と
新たな社会課題を解決する「新産業の創造」により
持続的に成長する企業を目指し、企業価値の最大化を目指す

<短期戦略>

- ・ 事業ポートフォリオの再構築
- ・ 経営基盤の強化
- ・ 新産業への投資
- ・ 株主還元の拡充
- ・ M&Aの実施

50th

創業から50年（1976年～2025年）

Towards the next 50th



1. 既存事業の強化

- ① BPOソリューション
- ② グローバルソリューション
- ③ 地方創生・観光ソリューションの収益改善
- ④ 競争力強化(DX、人的資本)



2. 新産業の創造

Well-being産業の創造による事業成長

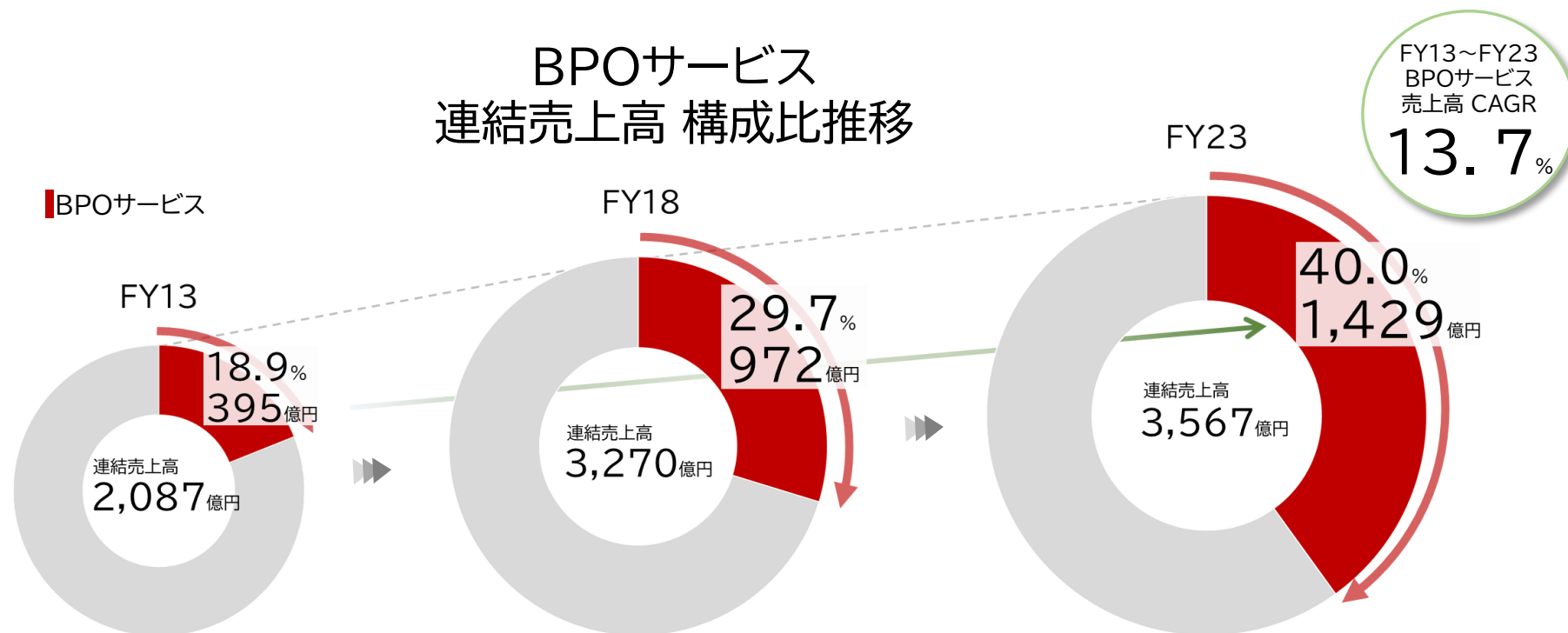
1 X-TECH BPOの進化と
BPO専門領域の事業拡大

2 地方創生・観光ソリューションの
収益改善

3 新規事業の創造

1.X-TECH BPOへの進化とBPO専門領域の事業拡大

- 景気後退時でも、戦略的にBPOサービスを拡大させ、連結売上高の成長を牽引
- 25/5期は「① X-TECH BPOへの進化」「② 専門領域の事業拡大」を進める



Professional BPO Solution

知的財産	総務	給与計算	労務管理	調達・購買	経理・財務
カスタマーサポート	営業事務	採用代行	派遣管理	健康推進	環境保全
設計・開発	内製化支援	AI / RPA	アバター	リスクリング	女性活躍
豊富な実績	エキスパートサービス等と 連携した人材層			全国BPOセンター	

① X-TECH BPOへの進化

- 開発から実装、オペレーションまで一括運営するX-TECH BPOを引き続き拡大
- ITパートナーとも連携を図りDX人材育成を強化

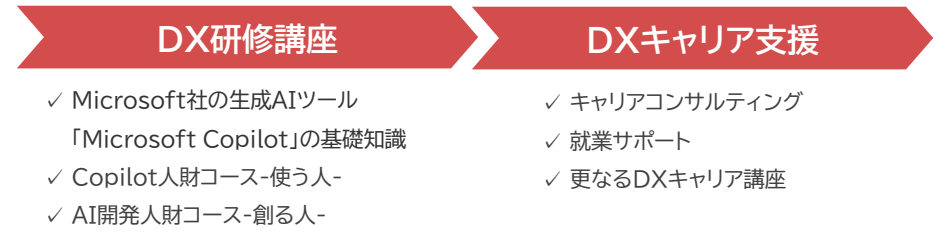
X-TECH BPO



DX人材育成 1万人


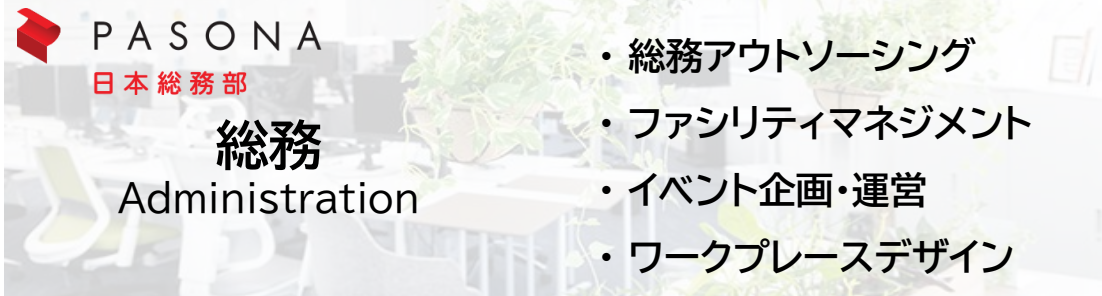

Microsoft × PASONA デジタル人材育成プログラム

国内
人材会社
初



② BPO専門領域の事業拡大

- 専門性・競合優位性の高い、知的財産領域、総務領域、人事領域を更に注力し拡大を図る

注力領域	サービス	戦略
 <p>PASONA Knowledge Partner</p> <h3>知的財産</h3> <p>Intellectual property</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 特許調査・ 知財管理・ 出願・ 権利活用	<ul style="list-style-type: none">✓ 特許事務所、ベンチャーキャピタルなどへ知財サービス提供✓ 知財活用事業(ライセンス関連)への取組強化✓ プラットフォームの構築による知財の流通化
 <p>PASONA 日本 総務部</p> <h3>総務</h3> <p>Administration</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 総務アウトソーシング・ ファシリティマネジメント・ イベント企画・運営・ ワークスペースデザイン	<ul style="list-style-type: none">✓ 長年培った大手総務部門運営ノウハウの外販拡大✓ 業務フロー一括受託による高付加価値サービスへの移行✓ XR(クロスリアリティ)等のX-TECHを活用したサービス拡充
 <p>PASONA HR Solution</p> <h3>人事</h3> <p>Human Resources</p>	<ul style="list-style-type: none">・ 労務管理・ 給与計算・ 教育・研修・ サステナビリティ経営戦略支援	<ul style="list-style-type: none">✓ 労務・給与計算の周辺業務を含めたサービス領域の拡大✓ RPA/AI等を活用し効率化・自動化推進と収益性・生産性向上✓ パートナー企業との協業強化などによる大型案件の更なる獲得

- 足元では観光客も増加し、円安効果でインバウンドも拡大、収益改善を加速させるために、多角的な施策を実施

1.交通インフラの拡充



お酒を飲みたい方・自家用車を持たない方などに対して、淡路島をバスで来れる場所としてPR強化



- バス会社との連携強化
神姫バス、本四海峡バス
西日本ジェイアールバス
- 多様な媒体等を通じたPR拡大
- バス利用者への優待実施

2.魅力あるコンテンツの展開



全世界で人気があり、ハリウッドで実写映画化もされた“モンスターハンター”のリアル体験コラボイベントが決定(期間限定)

- 新たな来場者の獲得
- コラボイベントと連動した多様な企画
- 既存施設への誘導・連携

3.集客強化

拡大するインバウンドの最大化、団体客の誘致強化、リピーター向け拡充を図る

- インバウンド
→ 海外OTAや旅行会社との連携拡大
- 団体客
→ 外商等との連携や優待プラン提供
- リピーター → 多様な特典の拡充

4.専門人材の採用・育成

スタッフのホスピタリティ向上や、世界の一流シェフなどによる人材育成を強化

- 世界の教育機関との連携
- 「Awaji Chef's Scuola」開校
→ 地域の資源や食文化から新たな価値を創造し地域の魅力を発信する「地方創生料理人」を育成



▲ Awaji Chef's Scuola (旧 富島小学校)

企業理念

『社会の問題点を解決する』

- 外部環境の変化**
- 少子高齢化
 - ライフスタイルの多様化
 - 健康寿命延伸の重要性
 - 豊かさ・価値観の変化

Well-being産業の創造

創業以来、人材サービスを通じて「こころの健康」「社会の健康」を創り、2003年以降は農業や地方創生を通じて「からだの健康」「こころの健康」にも取り組んでまいりました。健康寿命への意識の高まりや、豊かさ・価値観の変化を受け、今後はこれまでの事業をさらに発展させたWell-being産業に取り組んでまいります。

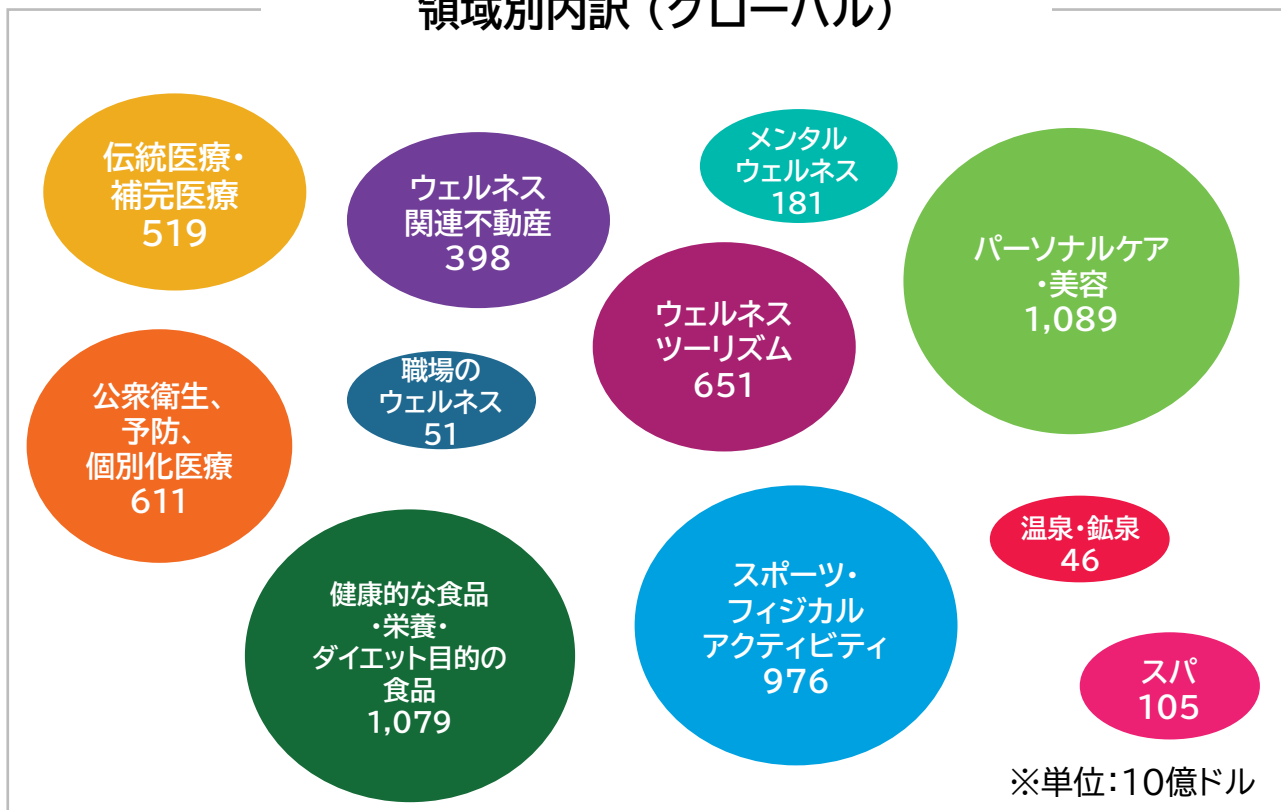
	からだの健康	こころの健康	社会の健康
使命	食をはじめとする未病対策により健康な身体をつくる	「思いやり」の精神のもと、誰もが自分の未来に想いを馳せることができ、ダイバーシティに富み、生きがいにあふれる、心豊かな社会を創る	あらゆる人が生き活きと働き、幸せに暮らすことのできる、真に豊かな社会、「ミューチュアル・ソサエティ(互助の社会)」を創る
事業	<ul style="list-style-type: none"> • ウェルネスリゾート事業 • スポーツウェルネス事業 • アグリカルチャー事業 	<ul style="list-style-type: none"> • 観光・ツーリズム事業 • エンターテインメント事業 • アート&カルチャー事業 	<ul style="list-style-type: none"> • 教育コミュニティ事業 • ミューチュアルコミュニティ事業

Well-being産業のグローバル市場規模は5.6兆ドル(約840兆円*1ドル150円で換算)であり

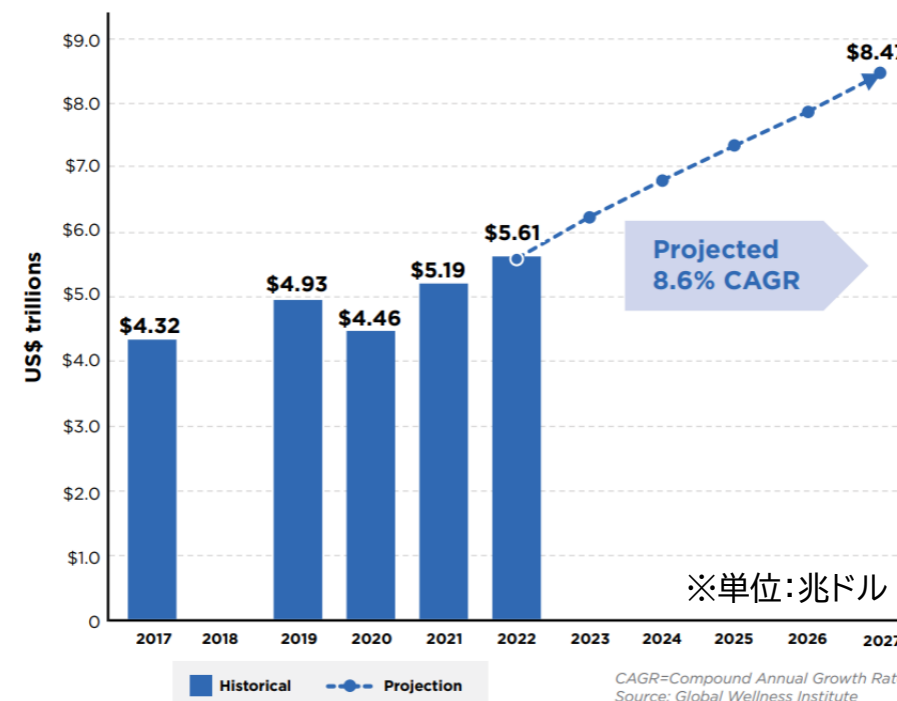
2027年まで年率8.6%の成長が見込まれる。日本の市場規模は2,410億ドル(約36兆円*1ドル150円で換算)。

※データ:Global Wellness Instituteによる「ウェルネス」(Well-beingな状態を目指す能動的な意識・行動)産業の算出結果。
 (「The Global Wellness Economy: Country Rankings」 データは全て2022年)

領域別内訳 (グローバル)



市場予測 (グローバル)



参考資料

『健康経営優良法人2024』認定

- 【パソナグループ・パソナ】
「健康経営優良法人2024 (ホワイト500)」認定 (8年連続)
- 【パソナ・パナソニック ビジネスサービス】
※パソナ・パナソニック ビジネスサービス(株)は2024年4月1日より(株)パソナ日本総務部に社名変更しております。
「健康経営優良法人2023 (ブライト500)」認定
- 【パソナHS】【パソナJOB HUB】
「健康経営優良法人2024」認定



【パソナグループ・パソナ 健康経営に対する主な取り組み】

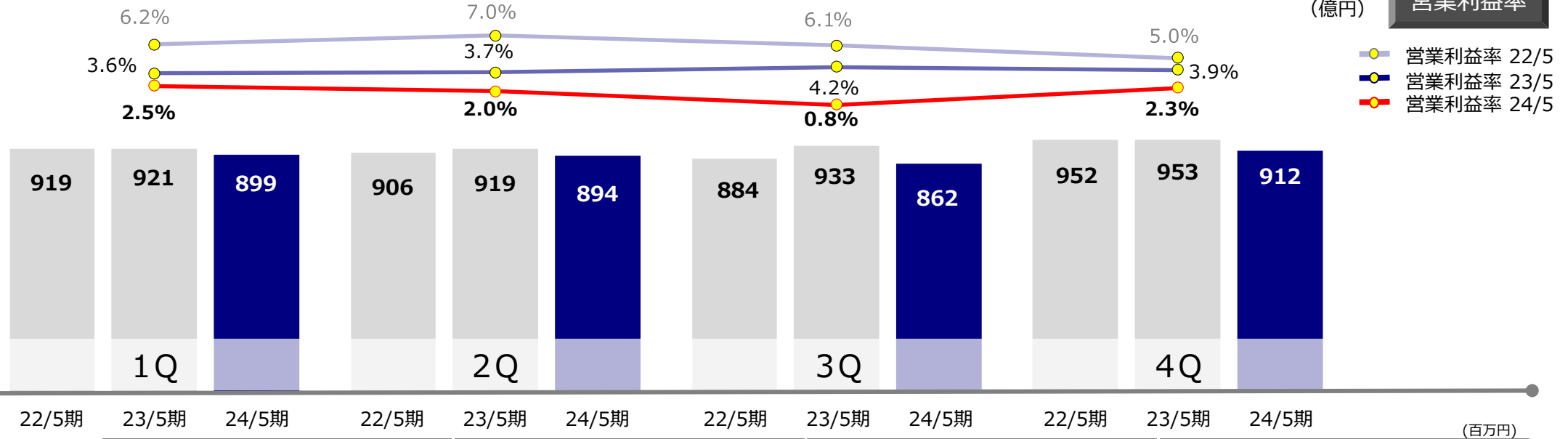
1. ライフスタイル調査の実施及び結果公表
年1回、社員を対象に運動・食事・睡眠・嗜好(飲酒・間食・喫煙)のカテゴリで生活習慣をスコア化しフィードバックするライフスタイル調査を実施。
2. メンタルヘルス対策
ストレスチェックの実施と併せて、セルフケア・ラインケアを推進するため、メンタルケア研修を全社員に実施。
3. 男女の健康作りを支援
男性・女性の心と体の変化について理解しリテラシー向上を推進することを目的に、産婦人科専門医による健康講座を全社員に実施。
4. 健康をきっかけにした社員のコミュニケーションの促進
自社オリジナルの体操を作り身体を動かすほか、トレーニングジムや健康的なランチの提供などにより、グループ全体のコミュニケーションを促進。
またLINEを活用した「オンライン健康推進室」を設置。
5. 多様な相談窓口の設置
社員やエキスパートスタッフ(派遣登録社員)の方々が、キャリアの相談のみならず自らの健康やライフスタイルなど様々な悩みを相談できる窓口を用意。
女性の健康サポートプログラムも拡充しており、女性特有の健康課題や育児・出産の悩みを専門医に相談できる「オンライン相談窓口」も設置。

連結業績 四半期推移

売上高

営業利益率

(億円)



連結	項目	第1四半期 (6~8月)					第2四半期 (9~11月)					第3四半期 (12~2月)					第4四半期 (3~5月)				
		22/5	23/5	対前期 増減率	24/5	前期比	22/5	23/5	対前期 増減率	24/5	前期比	22/5	23/5	対前期 増減率	24/5	前期比	22/5	23/5	対前期 増減率	24/5	前期比
		売上高	91,927	92,066	+0.2%	89,881	△2.4%	90,558	91,906	+1.5%	89,434	△2.7%	88,389	93,307	+5.6%	86,241	△7.6%	95,221	95,299	+0.1%	91,174
売上総利益	21,720	22,273	+2.5%	21,226	△4.7%	22,792	22,582	△0.9%	21,259	△5.9%	21,525	22,956	+6.7%	19,964	△13.0%	23,633	23,712	+0.3%	22,375	△5.6%	
販管費	16,020	18,943	+18.2%	18,997	+0.3%	16,496	19,180	+16.3%	19,508	+1.7%	16,173	19,025	+17.6%	19,270	+1.3%	18,898	19,999	+5.8%	20,254	+1.3%	
営業利益	5,700	3,330	△41.6%	2,228	△33.1%	6,295	3,402	△46.0%	1,751	△48.5%	5,352	3,931	△26.5%	693	△82.3%	4,735	3,712	△21.6%	2,120	△42.9%	
親会社株主に帰属する四半期純損益	2,481	1,293	△47.9%	187	△85.5%	2,318	1,440	△37.9%	△41	-	2,514	1,213	△51.7%	△899	-	1,306	2,151	+64.6%	96,644	+4,392.5%	
売上総利益率	23.6%	24.2%	+0.6pt	23.6%	△0.6pt	25.2%	24.6%	△0.6pt	23.8%	△0.8pt	24.4%	24.6%	+0.2pt	23.1%	△1.5pt	24.8%	24.9%	+0.1pt	24.5%	△0.4pt	
販管費率	17.4%	20.6%	+3.2pt	21.1%	+0.5pt	18.2%	20.9%	+2.7pt	21.8%	+0.9pt	18.3%	20.4%	+2.1pt	22.3%	+1.9pt	19.8%	21.0%	+1.2pt	22.2%	+1.2pt	
営業利益率	6.2%	3.6%	△2.6pt	2.5%	△1.1pt	7.0%	3.7%	△3.3pt	2.0%	△1.7pt	6.1%	4.2%	△1.9pt	0.8%	△3.4pt	5.0%	3.9%	△1.1pt	2.3%	△1.6pt	

※記載年度以前の数値はインベスターズガイドをご覧ください

連結業績 セグメント別 四半期推移

(百万円)

セグメント別		売上高											
		23/5/1Q	23/5/2Q	23/5/3Q	23/5/4Q	24/5/1Q	24/5/2Q	24/5/3Q	24/5/4Q	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比
①	エキスパートサービス (人材派遣)	37,837	37,375	35,663	36,311	34,551	34,133	32,252	33,596	△8.7%	△8.7%	△9.6%	△7.5%
②	BPOサービス (委託・請負)	33,817	34,507	36,722	37,279	35,932	36,038	34,806	36,076	+6.3%	+4.4%	△5.2%	△3.2%
③	HRコンサルティング、 教育・研修、その他	2,021	2,235	1,994	2,088	2,092	2,139	2,149	2,291	+3.5%	△4.3%	+7.8%	+9.7%
④	グローバルソーシング (海外人材サービス)	2,395	2,526	2,366	2,543	2,545	2,688	2,677	3,112	+6.3%	+6.4%	+13.1%	+22.4%
小計		76,071	76,645	76,746	78,223	75,122	75,000	71,885	75,077	△1.2%	△2.1%	△6.3%	△4.0%
⑤	キャリアソリューション (人材紹介、再就職支援)	3,434	3,475	3,395	3,618	3,341	3,468	3,099	3,144	△2.7%	△0.2%	△8.7%	△13.1%
⑥	アウトソーシング	10,583	9,650	10,788	11,353	9,571	9,156	9,648	10,586	△9.6%	△5.1%	△10.6%	△6.8%
⑦	ライフソリューション	1,963	2,035	2,115	2,086	1,923	1,873	1,889	2,105	△2.0%	△8.0%	△10.7%	+0.9%
⑧	地方創生ソリューション	1,529	1,894	1,823	1,684	1,526	1,572	1,228	1,895	△0.2%	△17.0%	△32.6%	+12.5%
⑨	消去又は全社	△1,515	△1,795	△1,561	△1,666	△1,604	△1,636	△1,509	△1,635	-	-	-	-
連結		92,066	91,906	93,307	95,299	89,881	89,434	86,241	91,174	△2.4%	△2.7%	△7.6%	△4.3%

※記載年度以前の数値はインバスターズガイドをご覧ください
 ※当期3Qに子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更しました
 それに伴い前期3Qから同セグメント変更の振替を行っています

連結業績 セグメント別 四半期推移

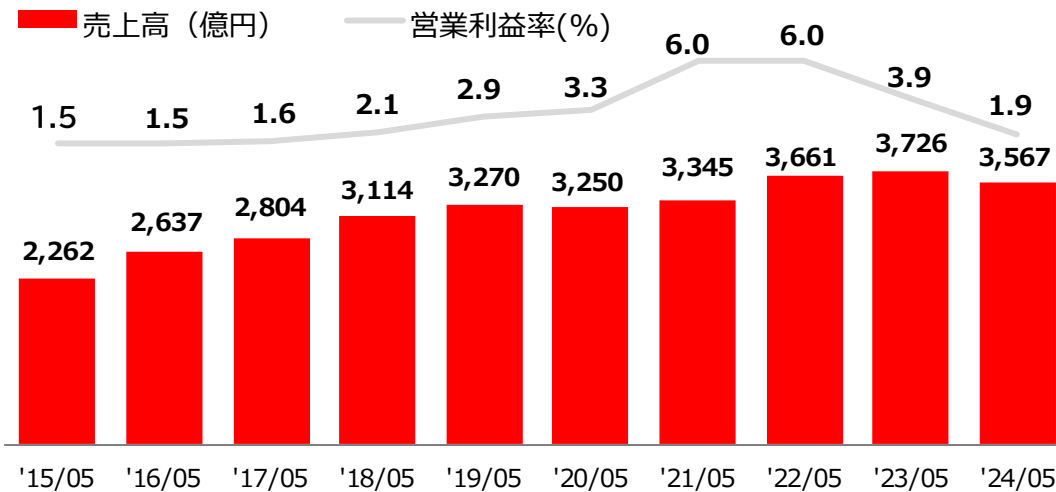
(百万円)

セグメント別		営業利益											
		23/5/1Q	23/5/2Q	23/5/3Q	23/5/4Q	24/5/1Q	24/5/2Q	24/5/3Q	24/5/4Q	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比
①	エキスパートサービス (人材派遣)	3,398	3,963	3,591	3,561	3,050	2,865	1,590	3,992	△10.2%	△27.7%	△55.7%	+12.1%
②	BPOサービス (委託・請負)												
③	HRコンサルティング、 教育・研修、その他												
④	グローバルソーシング (海外人材サービス)												
小計		3,506	4,205	3,697	3,723	3,100	2,949	1,571	4,148	△11.6%	△29.8%	△57.5%	+11.4%
⑤	キャリアソリューション (人材紹介、再就職支援)	919	1,074	976	1,119	1,025	1,100	854	1,062	+11.5%	+2.5%	△12.5%	△5.1%
⑥	アウトソーシング	2,897	1,927	3,013	2,648	1,934	1,605	2,273	1,801	△33.2%	△16.7%	△24.5%	△32.0%
⑦	ライフソリューション	55	117	140	50	△5	28	67	37	-	△75.4%	△52.1%	△25.4%
⑧	地方創生ソリューション	△667	△450	△1,001	△757	△648	△568	△750	△621	-	-	-	-
⑨	消去又は全社	△3,381	△3,471	△2,895	△3,071	△3,177	△3,365	△3,322	△4,309	-	-	-	-
連結		3,330	3,402	3,931	3,712	2,228	1,751	693	2,120	△33.1%	△48.5%	△82.3%	△42.9%

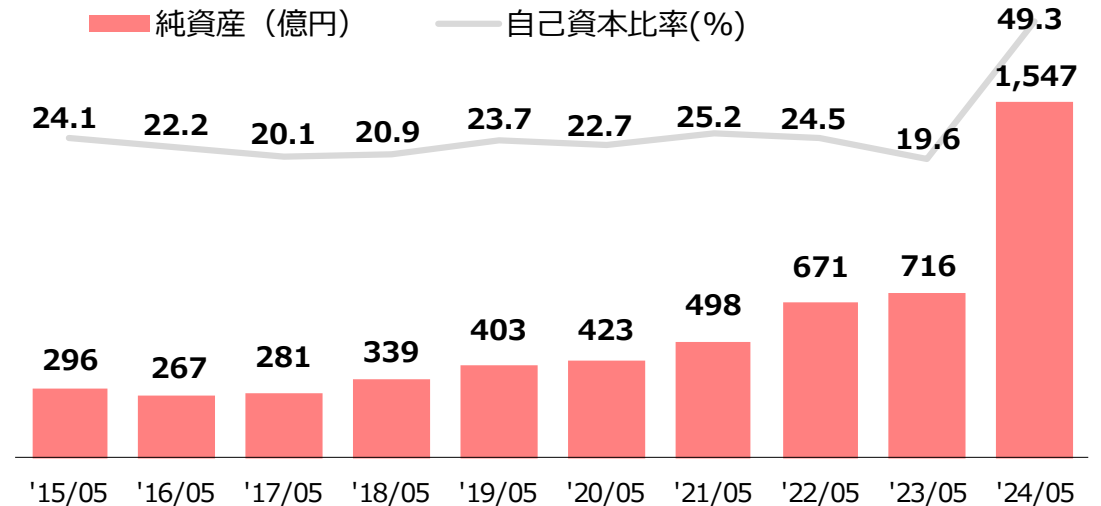
※記載年度以前の数値はインバスターズガイドをご覧ください
 ※当期3Qに子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更しました
 それに伴い前期3Qから同セグメント変更の振替を行っています

主要経営指標 (通期)

売上高および営業利益率



純資産および自己資本比率



業績推移

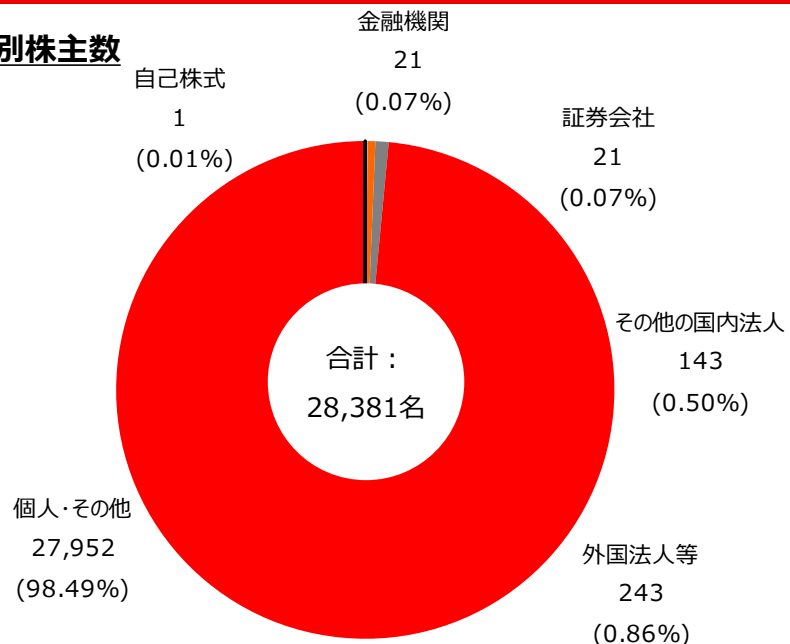
経営指標	'15/05	'16/05	'17/05	'18/05	'19/05	'20/05	'21/05	'22/05	'23/05	'24/05
売上高	226,227	263,728	280,395	311,410	326,984	324,986	334,540	366,096	372,579	356,733
売上総利益率	20.3%	20.0%	20.2%	21.5%	22.8%	23.6%	24.8%	24.5%	24.6%	23.8%
販売費及び一般管理費	42,381	48,948	52,128	60,489	65,245	66,112	63,028	67,588	77,148	78,030
売上高販管費比率	18.7%	18.6%	18.6%	19.4%	20.0%	20.3%	18.8%	18.5%	20.7%	21.9%
営業利益	3,490	3,860	4,488	6,539	9,465	10,577	19,940	22,083	14,377	6,794
営業利益率	1.5%	1.5%	1.6%	2.1%	2.9%	3.3%	6.0%	6.0%	3.9%	1.9%
経常利益	3,343	3,855	4,319	6,631	9,237	10,236	20,379	22,496	15,366	7,152
経常利益率	1.5%	1.5%	1.5%	2.1%	2.8%	3.1%	6.1%	6.1%	4.1%	2.0%
当期純損益 *1	214	243	△129	1,288	1,975	594	6,784	8,621	6,099	95,891
売上高当期純利益率	0.1%	0.1%	-	0.4%	0.6%	0.2%	2.0%	2.4%	1.6%	26.9%
総資産 *2	88,641	85,356	94,584	112,477	119,459	140,441	151,641	203,746	275,504	301,090
純資産	29,620	26,735	28,062	33,889	40,253	42,316	49,779	67,146	71,624	154,661
自己資本比率 *2	24.1%	22.2%	20.1%	20.9%	23.7%	22.7%	25.2%	24.5%	19.6%	49.3%
ROE	1.0%	1.2%	△0.7%	6.0%	7.6%	2.0%	19.4%	19.6%	11.7%	94.7%
従業員数	7,908	8,550	8,682	9,074	9,317	19,538	21,789	23,488	24,918	25,046

*1 2016年5月期より本項の「当期純損益」は、「親会社株主に帰属する当期純損益」を指しております。

*2 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2019年5月期第1四半期連結会計期間の期首より適応しており、2018年5月期については、遡及処理後の数値を記載しております。

株式保有状況（自己株式含む）

所有者別株主数



大株主

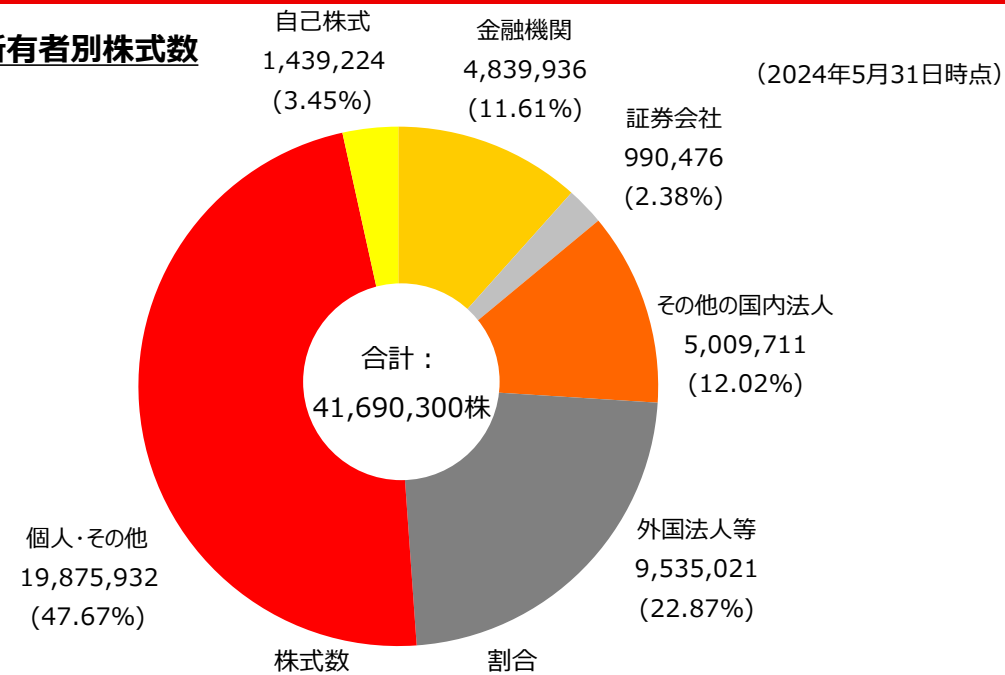
株主名	株式数	割合
南部 靖之	14,763,200	35.41%
株式会社南部エンタープライズ	3,738,500	8.97%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	2,554,700	6.13%
（自己株式）株式会社パソナグループ	1,439,224	3.45%
CEPLUX- THE INDEPENDENT UCITS PLATFORM 2	1,082,000	2.60%
株式会社日本カステイ銀行(信託E口)	1,066,136	2.56%
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	922,000	2.21%
JP JPMSE LUX RE UBS AG LONDON BRANCH EQ CO	803,400	1.93%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	722,100	1.73%
株式会社日本カステイ銀行(信託口)	644,600	1.55%

※第4位に自己株式1,439,224株（発行済株式総数に対する所有割合3.45%）がありますが、会社法第308条第2項の規定により議決権を有していません。

※テンパード・インベストメント・マネジメント・リミテッドから2023年12月27日付で関東財務局に大量保有報告書の変更報告書の送付があり、

2023年12月20日時点で1,912,100株を所有している旨の報告を受けておりますが、2024年5月末時点における所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含まれておりません。

所有者別株式数



グループ会社 一覧 (セグメント別)

BPOソリューション (委託・請負) エキスパートソリューション (人材派遣)

パソナ	パソナ日本総務部	アサヒビールコミュニケーションズ
ビーウィズ	パソナハートフル	ドゥアイネット
パソナロジコム	Pasona art now	パソナジョイナス
パソナHS	パソナナレッジパートナー	テクノリサーチ
長崎ダイヤモンドスタッフ	パソナ知財信託	パソナフォース
パソナマスターズ	プロフェリエ	サークレイス (※)
パソナHRソリューション	パソナテック	イースタッフイング (※)
ゴートップ	スマートスタイル	全国試験運営センター (※)
パソナJOB HUB	アイブリッド	シャドーコンサルティング (※)
パソナYBS		

グローバルソリューション (海外人材サービス)

Pasona N A, Inc.	Pasona Tech Vietnam Co., Ltd.
Pasona Canada, Inc.	Pasona Education Co. Limited
Pasona Taiwan Co., Ltd.	Pasona HR Malaysia Sdn.Bhd.
Pasona Singapore Pte. Ltd.	PT.Dutagriya Sarana
Pasona Asia Co., Limited	Agensi Pekerjaan Pasona Sdn. Bhd.
PT Pasona HR Indonesia	Pasona HR Consulting Thailand Co., Ltd
Pasona Korea Co., Ltd	Pasona Oversea Recruitment
Pasona India Private Limited	
MGR Consulting Co.,Ltd.	
Pasona Human Resources (Shanghai) Co., Ltd.	
Pasona Recruitment (Thailand) Co., Ltd	

キャリアソリューション (人材紹介・再就職支援)

パソナ

ライフソリューション (子育て支援事業・教育事業、介護事業、ライフサポート事業)

パソナフォスター

パソナライフケア

地方創生・観光ソリューション

パソナふるさとインキュベーション
パソナ農援隊
丹後王国ブルフリー
パソナ東北創生
ニジゲンノモリ
パソナスマイル
地方創生
匠創生

パソナHR HUB
リボン
古酒の舎
日本の古酒蔵
awajishima resort
all Japan Tourism Alliance
Awaji Nature Farm
イーハトーブ東北(※)

※2024年5月31日時点

● 連結子会社 59社
(※) 持分法適用会社 5社

※2025年5月期からの新セグメント名に沿って記載しています。

会社概要

東証プライム (2168)

社名	株式会社パソナグループ (Pasona Group Inc.)
本社所在地	〒100-6514 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング (グループ本部) 〒107-8351 東京都港区南青山3-1-30 TEL 03-6734-0200(代)
設立	2007年12月3日 (創立 1976年2月)
資本金	50億円
代表者	代表取締役グループ代表兼社長 南部 靖之
事業内容	BPOソリューション (委託・請負) エキスパートソリューション (人材派遣) キャリアソリューション (人材紹介、再就職支援) グローバルソリューション (海外人材サービス) ライフソリューション (子育て支援事業・教育事業、介護事業、ライフサポート事業) 地方創生・観光ソリューション ※2025年5月期からの新セグメント名に沿って記載しています。
従業員数	25,046名 (連結・契約社員含む) ※2024年5月31日時点
グループ会社	連結子会社 59社 , 持分法適用会社 5社 ※2024年5月31日時点
ホームページ	https://www.pasonagroup.co.jp